

# 最近の経済動向

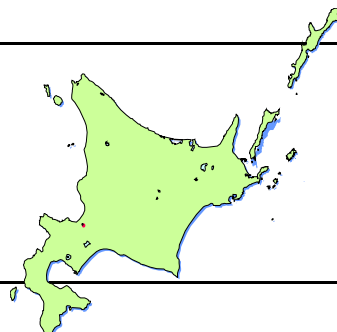
平成25年6月号

本道経済は、一部に足踏み感があるものの、持ち直しの動きが続いている

## 北海道の景気概況

P 1 ■企業のみなさまから伺いました

P 4 ■景気動向指数



## 需要動向（消費・投資）

P 5 ■個人消費 ~ 横ばいの傾向にある

P 7 ■住宅建設 ~ 持ち直しの動きが続いている

P 8 ■公共工事 ~ 横ばいの傾向にある

P 8 ■観光 ~ 持ち直している

## 企業活動と雇用、物価等

P 9 ■生産活動 ~ 緩やかながら持ち直しの動きがみられる

P 10 ■電力 ~ 電力需要、大口電力とも前年を下回った

P 12 ■輸出入 ~ 輸出額、輸入額とも前年を上回った

P 13 ■企業倒産 ~ 件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回った

P 14 ■雇用 ~ 厳しい状況が続いているものの、緩やかに持ち直してきている

P 17 ■物価 ~ 消費者物価指数は前年を下回った

## 地域、全国の経済動向

P 18 ■地域の経済動向

P 24 ■全国の経済動向

編集・発行：北海道総合政策部政策局経済調査課

TEL 011-204-5139

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/skc/>

## ■ 企業のみなさまから伺いました

### ◆ 百貨店 （5月）

---

#### 【低温で初夏向けの衣料品の出足は低調】

5月は気温が低かったため、春物のニーズが長期化し、この時期に動く初夏物の婦人カットソーや紳士カジュアルシャツなどの出足が鈍く、衣料品の売上は前半伸び悩んでいたが、後半気温の上昇とともに初夏物が動き出した。

また、婦人用のアイテムは、紫外線対策の化粧品や、遮光・遮熱効果のある商品の動きがよく、紳士物ではクールビズ対応商品のインナーが動いていた。

#### 【高額商品の売上は引き続き好調】

円安による値上げを見据えた海外高級ブランドの駆け込み需要の動きが続いており、高級輸入時計や宝飾品などの高額商品の売上げも引き続き好調だった。

海外ブランドなどの高額商品については、外国人客の売上も貢献している。

## ◆スーパーマーケット（5月）

---

### 【低気温の影響でホット商材の売れ行きが好調】

5月は、中旬まで気温の低い日が多かったため、涼味商材よりもホット商材の売れ行きが良かった。

また、例年ゴールデンウィークに売れる行楽関連商材の売上が落ち込んだが、室内で食べる寿司の売上が好調であった。

### 【豚肉、牛肉等の売上が好調】

豚肉は、ゴールデンウィーク期間中に気温の低い日が続いたため、家庭内での消費が増え、売上が好調であった。

また、牛肉も、例年並みの気温になってきた中旬以降は売上が伸び、焼肉用肉、ステーキ用肉、切り落とし等好調な売上であった。

## ◆コンビニエンスストア（5月）

---

### 【天候不順で来店客、売上が減少】

4月に引き続き、5月も第3週目までが低温で推移し、特に連休時期である5月1日～5日までは、気温が平年を11度も下回るといった状態であり、来店客数、売上高ともに前年同期を下回った。最終週から気温が平年並みに上がり、これからの来客数と売上の増加に期待している。

行楽地への人出が伸び悩んだことに加えて、例年なら農作業が開始され、繁忙期として臨時に雇われる人などのために弁当や飲み物、菓子類やビール類も伸びるはずなのだが、農作業の遅れから、こちらの売上にも遅れが出ている。

客単価が前期比微増となっているが、これは、プリペイドカード（ウェブマネーやiTunesカードなどのネット決済用カード）の売上によるところが大きい。

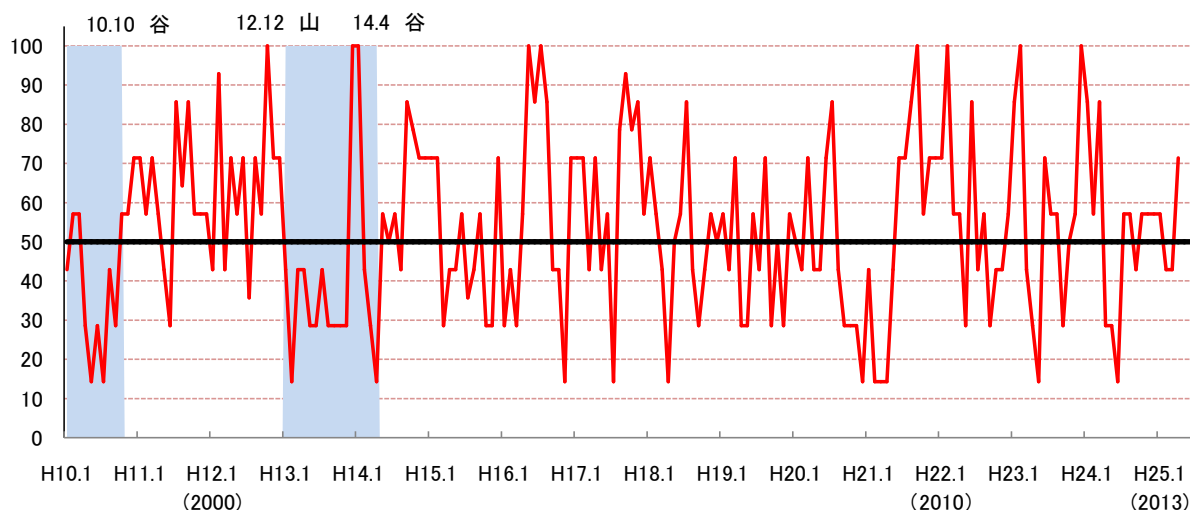
### 【リピーター獲得への方策】

コンビニ各社は「たばこ特需」のあとのキーになる商品を模索している。

嗜好品であり、特徴ある味、風味などでリピーター客を捕まえやすいと考えられる筆頭は「コーヒー」で、顧客が「味」や「風味」、「新鮮さ」などの付加価値を納得できると判断した場合、多少値段が高くても常連（リピーター）となってくれる可能性が高いことから、ほぼ各社がレジカウンター前に専用のマシンを置き、独自の味や風味、スタイルでリピーター客を獲得しようと努力している。

## ■ 景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	25/ 1月	2月	3月	4月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	-	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+
	生産指数(生産財)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	p+
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	-	-	+	+	+	-	-	-	+	+	+	-	-
	新設住宅着工戸数	-	-	+	-	+	+	+	+	+	-	-	-	-
	企業倒産件数(逆サイクル)	-	+	+	+	-	+	-	+	+	-	+	+	-
	企業業況判断DI	+	+	+	+	+	+	0	0	0	-	-	-	0
	拡張系列数	2	4	6	5	5	5	2.5	3.5	4.5	2	3	2	2.5
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	28.6	57.1	85.7	71.4	71.4	71.4	35.7	50.0	64.3	28.6	42.9	28.6	p35.7
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	-	-	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+
	生産指数(鉱工業)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	p+
	出荷指数(生産財)	-	-	-	+	+	-	-	-	+	+	+	+	p+
	大口電力使用量	+	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	+
	百貨店販売額(既存店)	-	+	-	-	+	-	+	+	+	-	-	+	p+
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	+	+	-	+	+	+	+	-	+	+	-	-	-
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	-	-	-	+	-	+	+	+	-	+	+	-	p-
	拡張系列数	2	2	1	4	4	3	4	4	4	4	3	3	5
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	一致指数	28.6	28.6	14.3	57.1	57.1	42.9	57.1	57.1	57.1	57.1	42.9	42.9	p71.4
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	+
	完全失業率(逆サイクル)	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+	+	+	0
	消費者物価指数(総合)	+	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	-	-
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	+	+	-	+	-	+	+	+	-	-	-	-	-
	生産指数(資本財)	+	-	-	-	-	+	-	+	-	-	-	-	p-
	拡張系列数	5	3	2	2	1	3	2	3	1	2	2	1	0.5
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
遅行指数	100.0	60.0	40.0	40.0	20.0	60.0	40.0	60.0	20.0	40.0	40.0	20.0	p12.5	

(注) 1 北海道総合政策部政策局経済調査課 試算。Pは速報値(以下同様)。

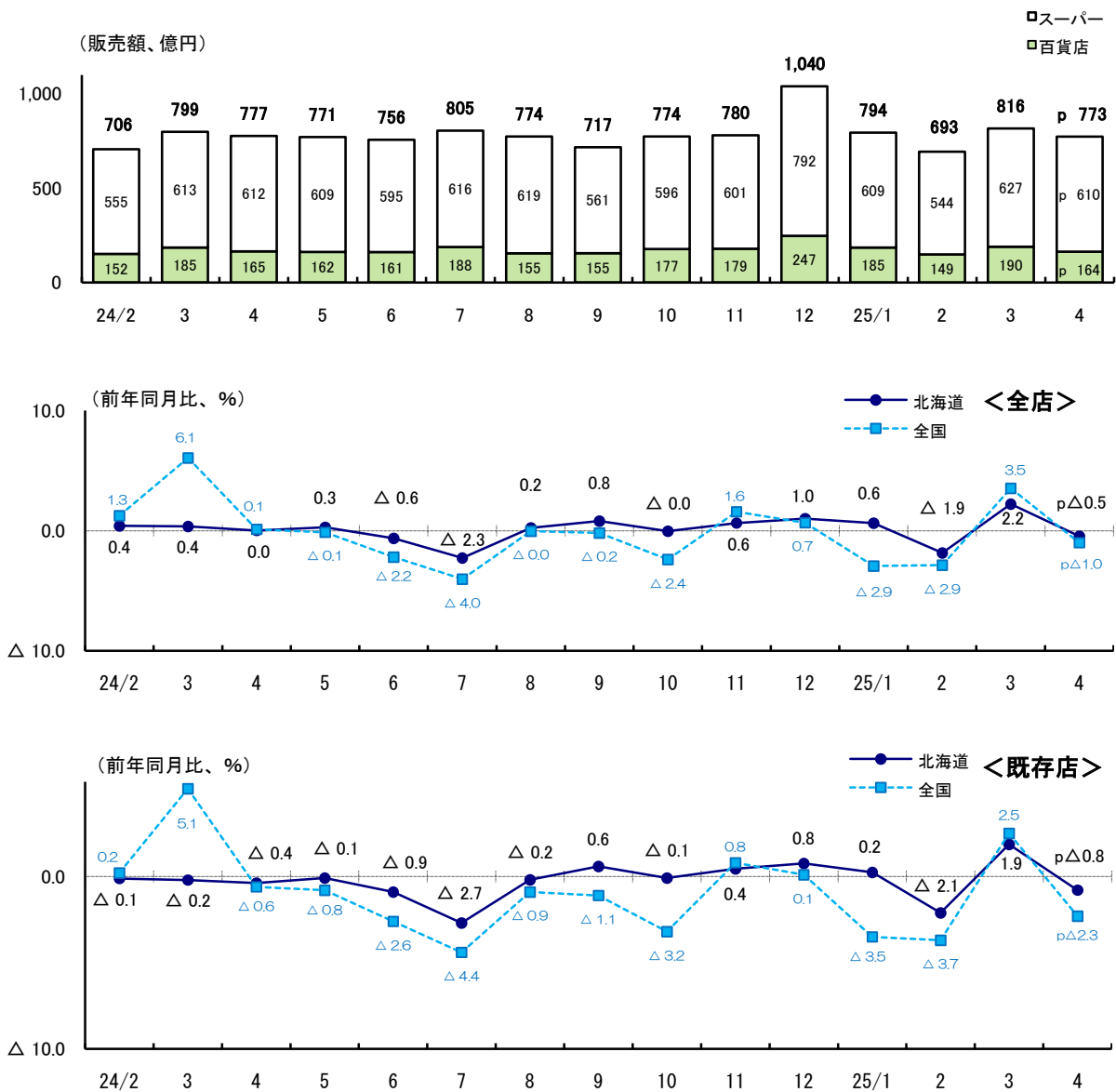
2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の高・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3カ月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

■個人消費～ 横ばいの傾向にある

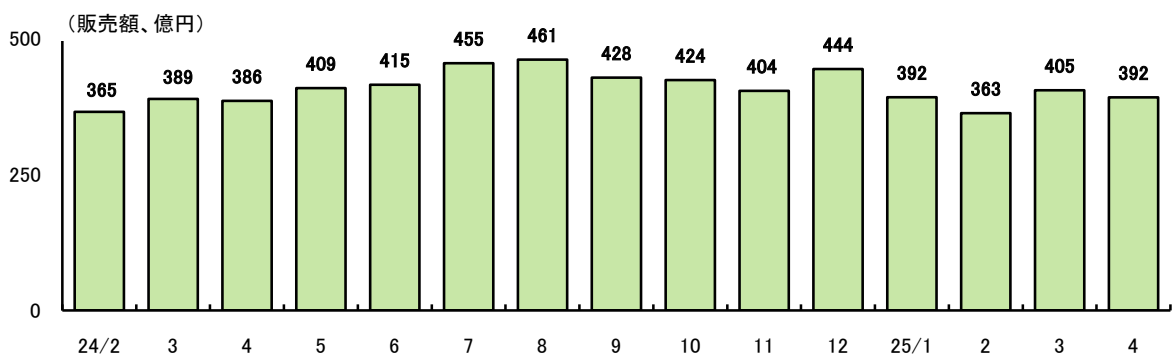
◆大型小売店販売額(4月)◆

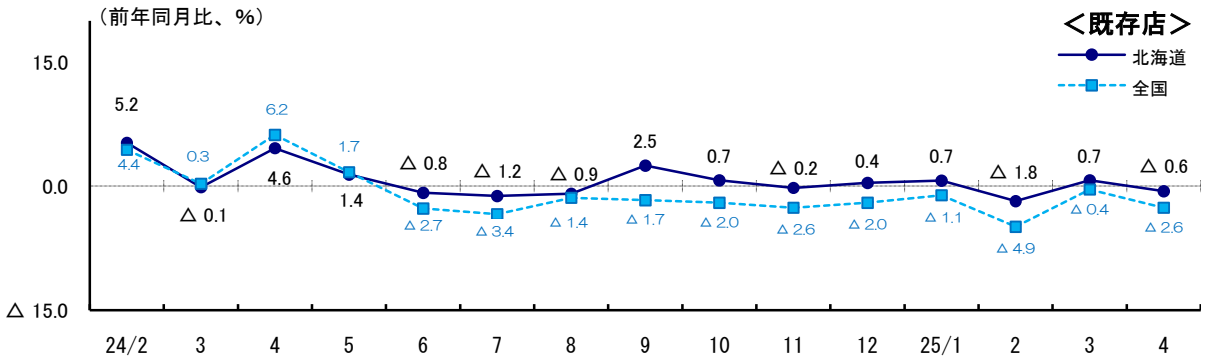
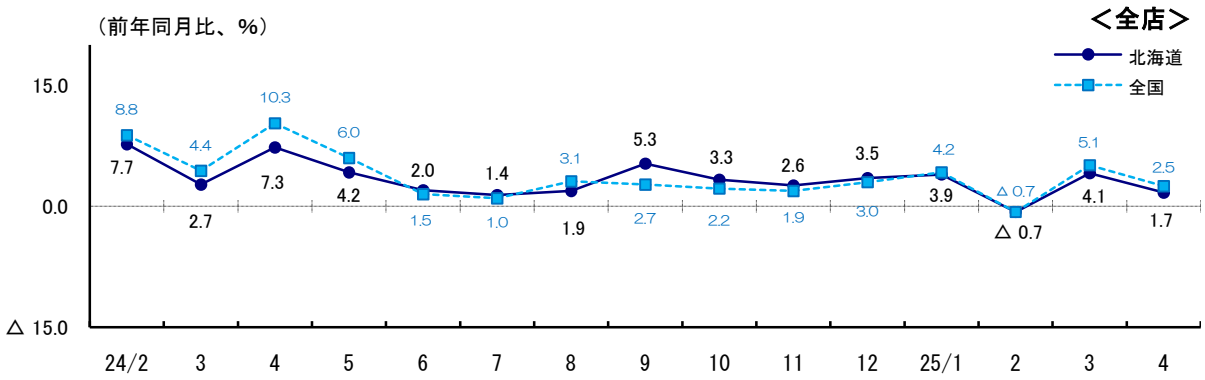
全店ベースで773億円、前年同月比0.5%減と2か月ぶりに前年を下回り、既存店ベースでは同0.8%減と2か月ぶりに前年を下回った。



◆コンビニエンスストア販売額(4月)◆

全店ベースで392億円、前年同月比1.7%増と2か月連続で前年を上回り、既存店ベースでは同0.6%減と2か月ぶりに前年を下回った。

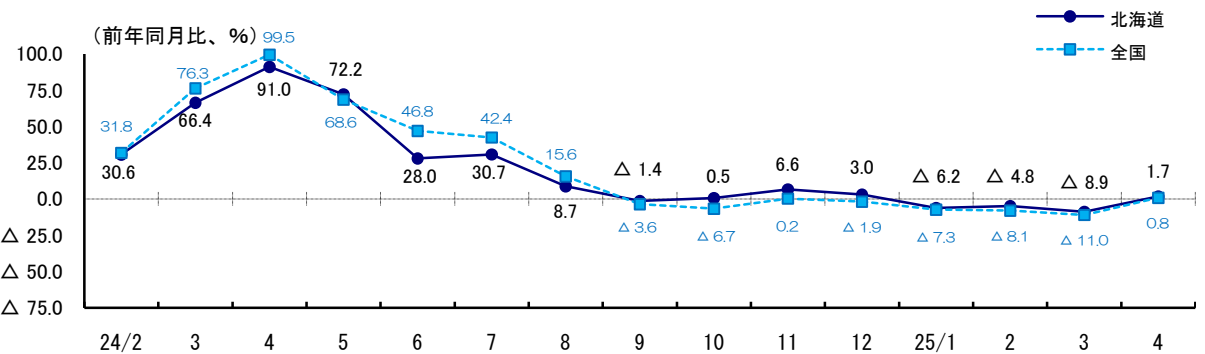
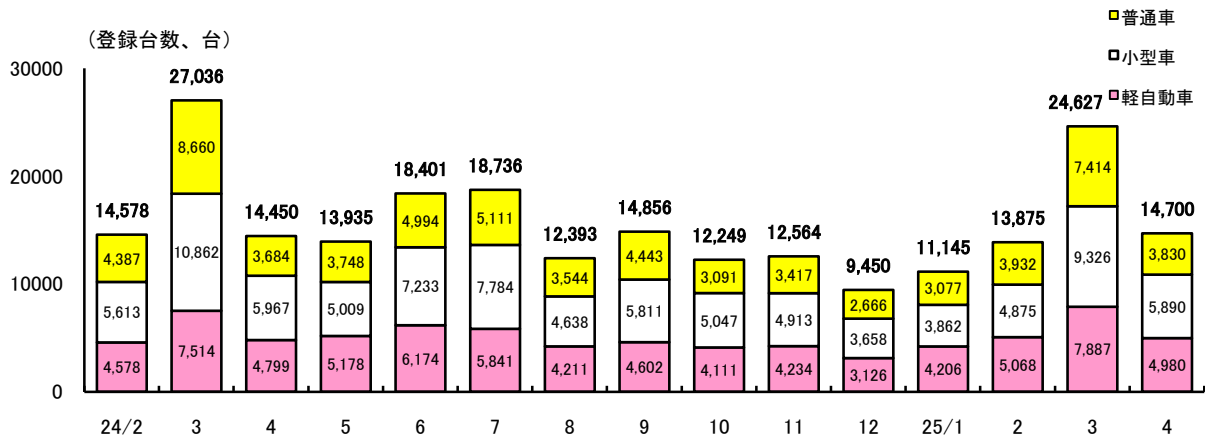




(北海道経済産業局、経済産業省調べ)

◆新車登録台数(4月)◆

新車登録台数は14,700台、前年同月比1.7%増と4か月ぶりに前年を上回った。



(※ H23/12 エコカー補助金復活)

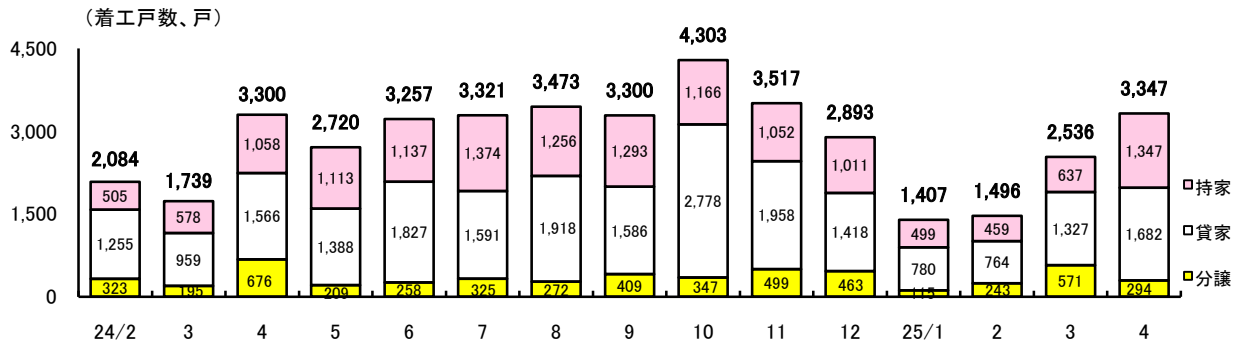
※ H24/9 エコカー補助金終了

(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ)

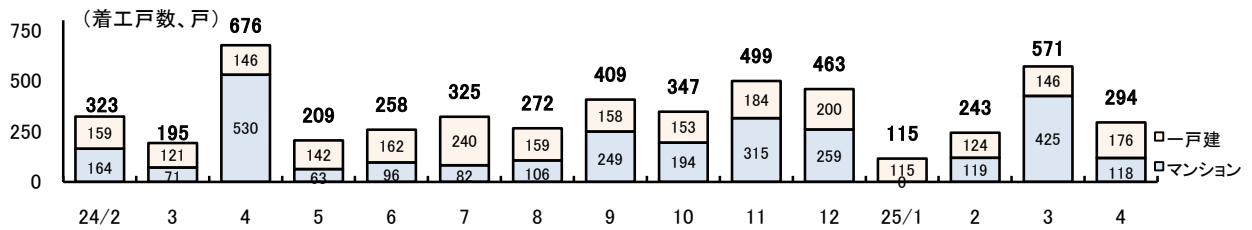
## ■住宅建設～ 持ち直しの動きが続いている

### ◆新設住宅着工戸数(4月)◆

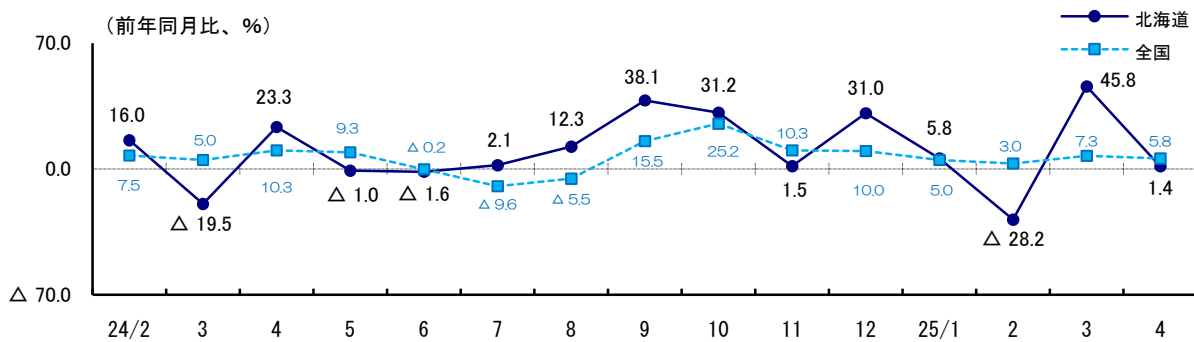
総戸数3,347戸、前年同月比1.4%増と2か月連続で前年を上回った。



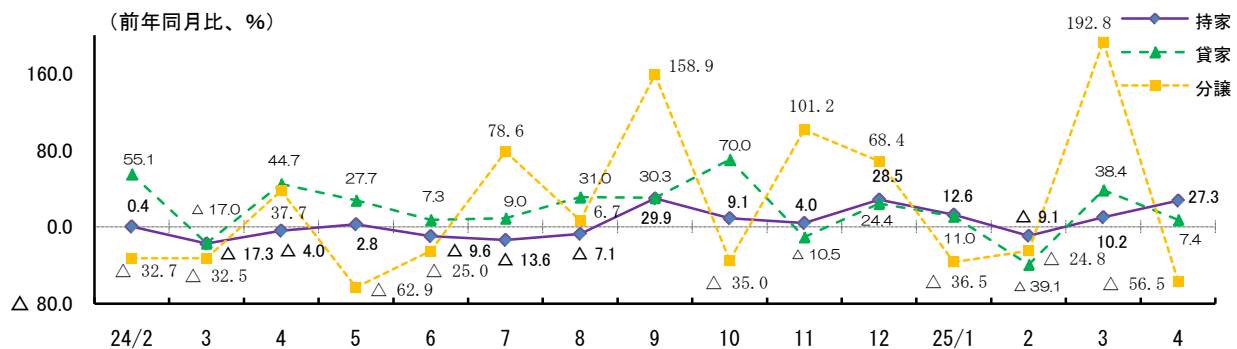
### ●分譲の内訳



※ 長屋建てを除くため、内訳と合計は一致しない。



持家、貸家が、前年を上回ったが、分譲が前年を下回った。



(国土交通省調べ)

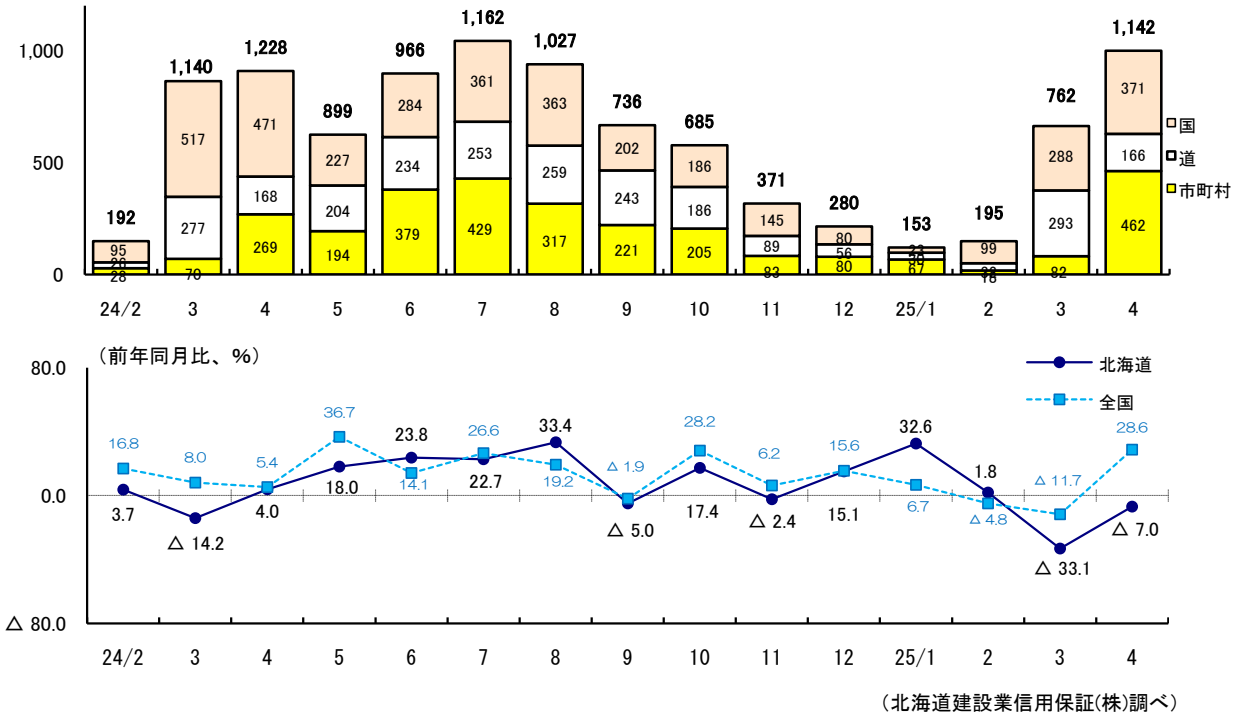


## ■公共工事～ 横ばいの傾向にある

### ◆公共工事請負金額(4月)◆

請負金額は1,142億円、前年同月比7.0%減と2か月連続で前年を下回った。

(請負金額、億円)

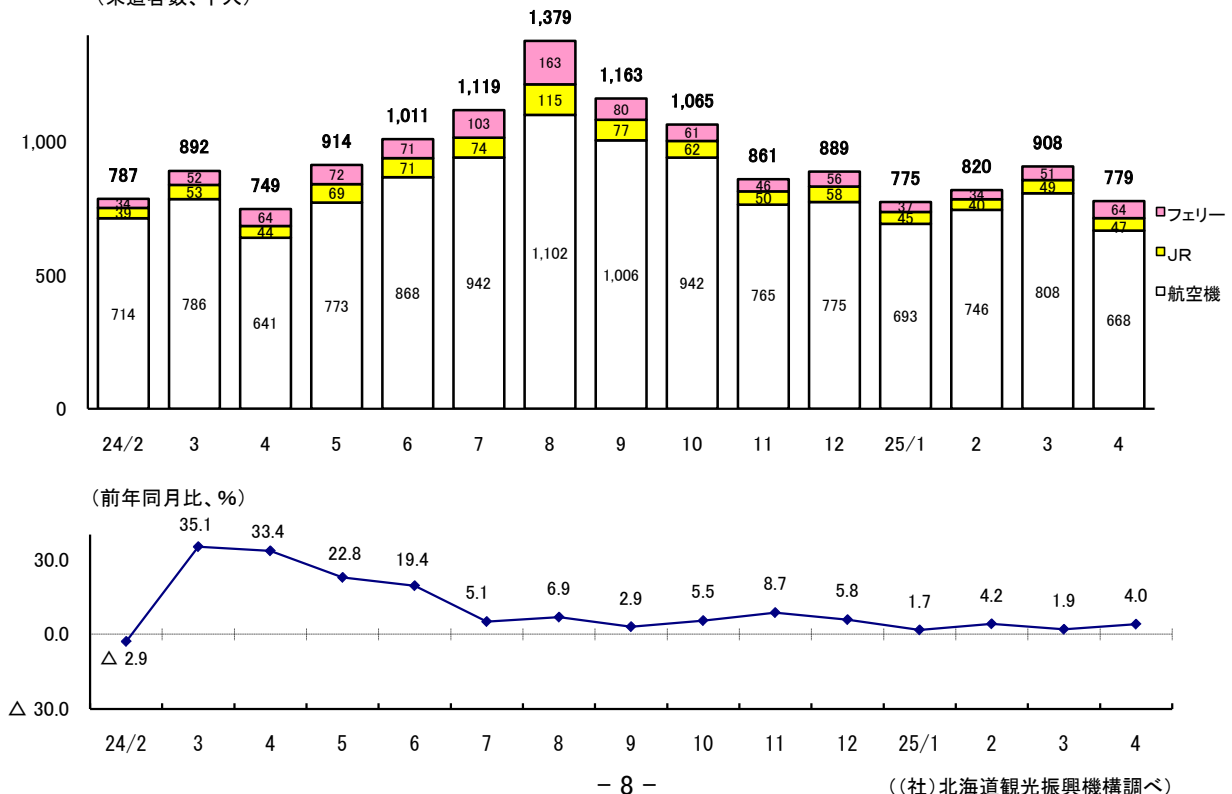


## ■観光～ 持ち直している

### ◆来道客数(4月)◆

来道客数は78万人、前年同月比4.0%増と14か月連続で前年を上回った。

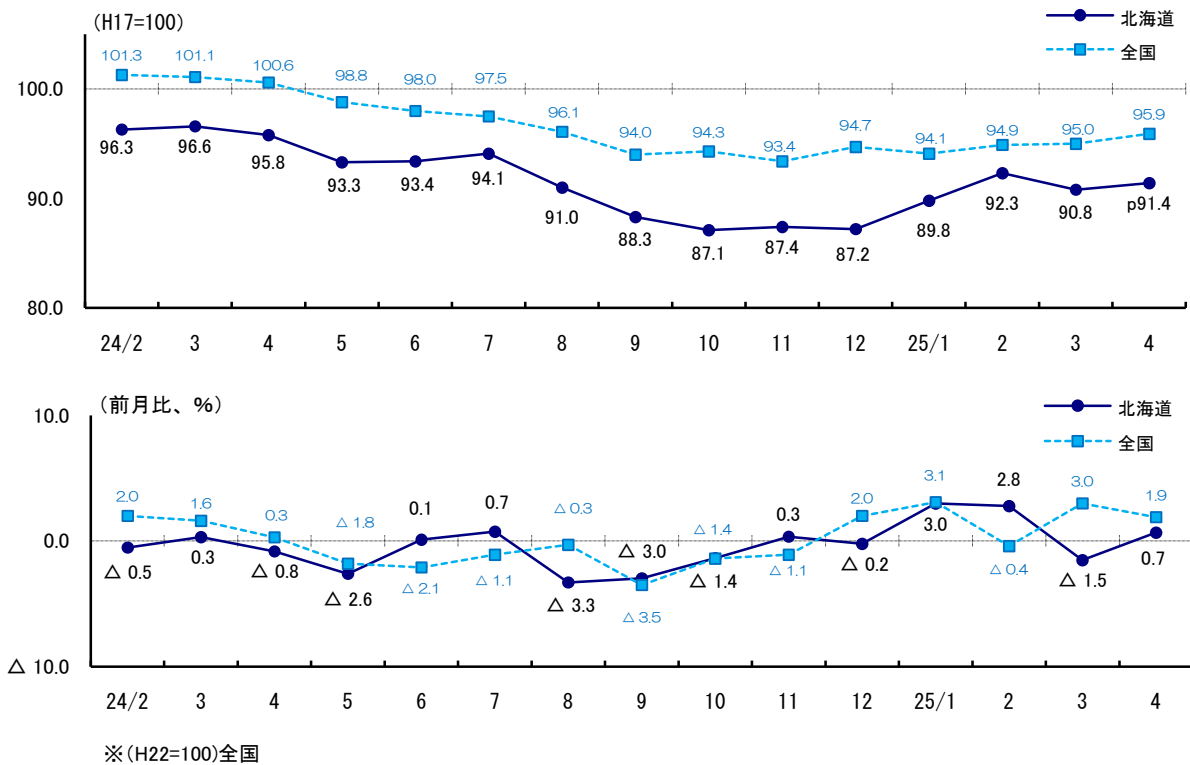
(来道客数、千人)



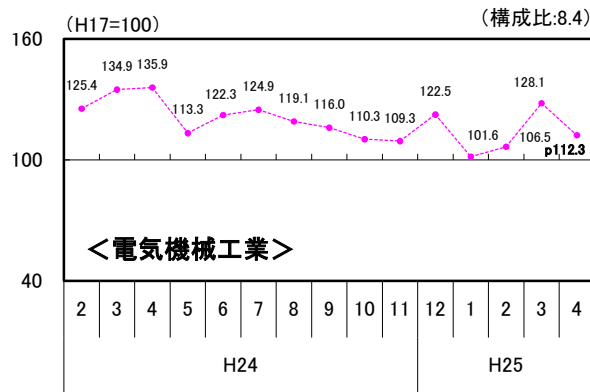
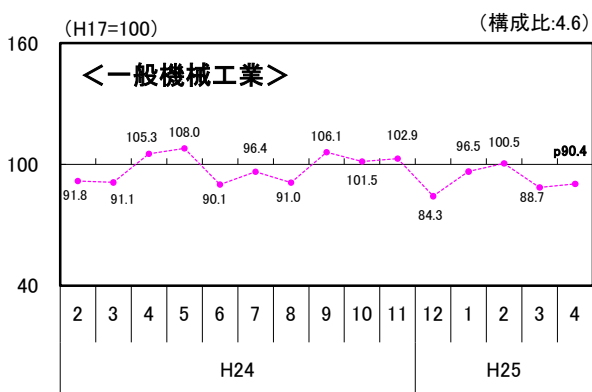
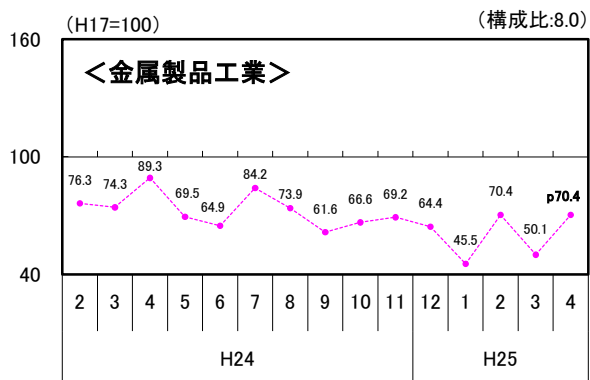
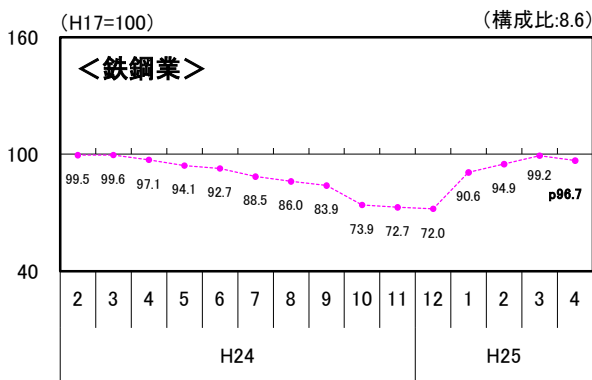
## ■生産活動～ 緩やかながら持ち直しの動きがみられる

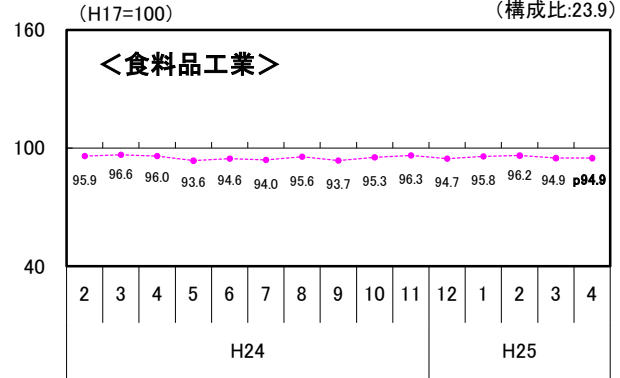
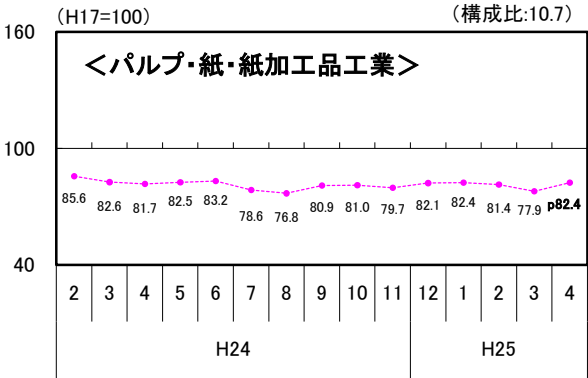
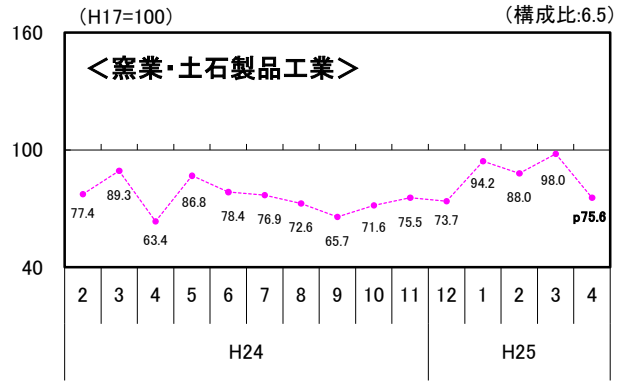
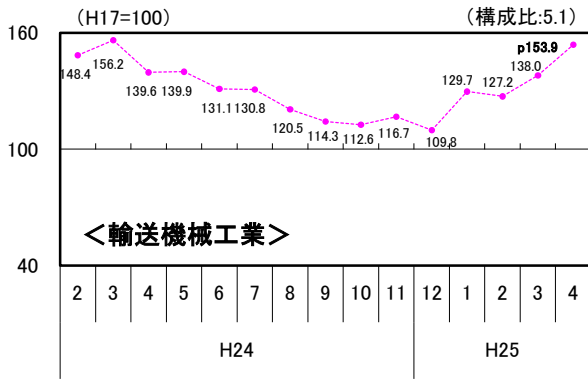
### ◆鉱工業生産指数（4月）◆

季節調整済指数で91.4、前月比0.7%増と2か月ぶりに前年を上回った。



業種別では、季節調整済指数で金属製品工業、一般機械工業、輸送機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業が上昇したものの、鉄鋼業、電気機械工業、窯業・土石製品工業は低下した。



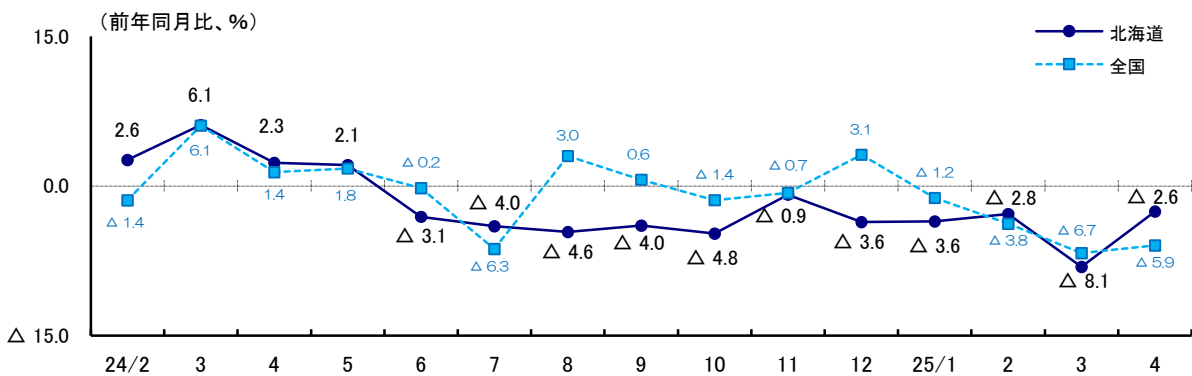
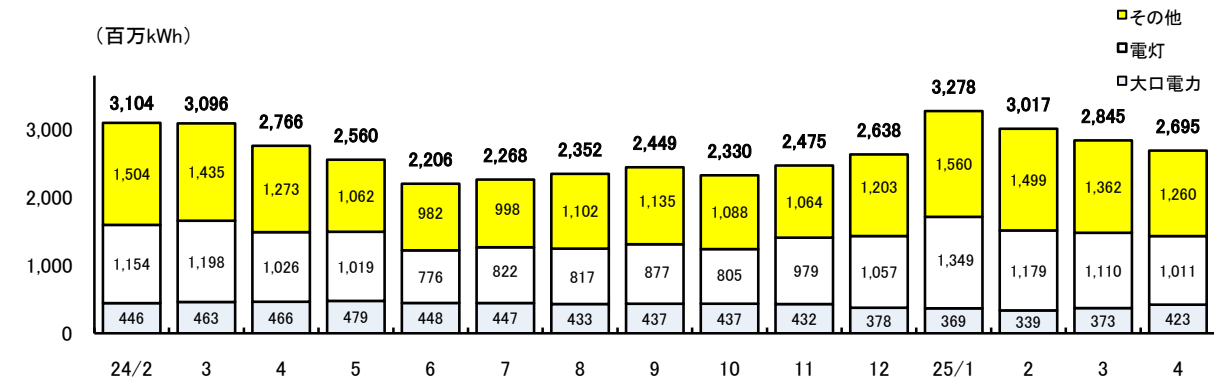


(北海道経済産業局、経済産業省調べ)

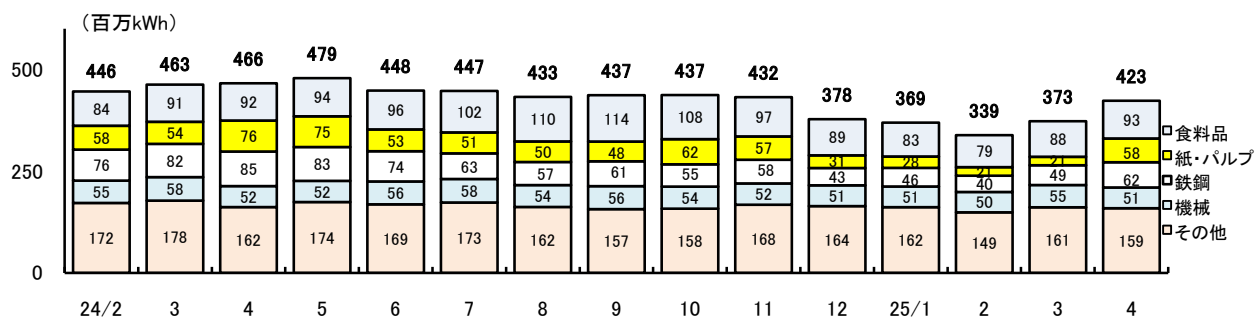
■電 力 ～ 電力需要、大口電力とも前年を下回った

◆電力需要（4月）◆

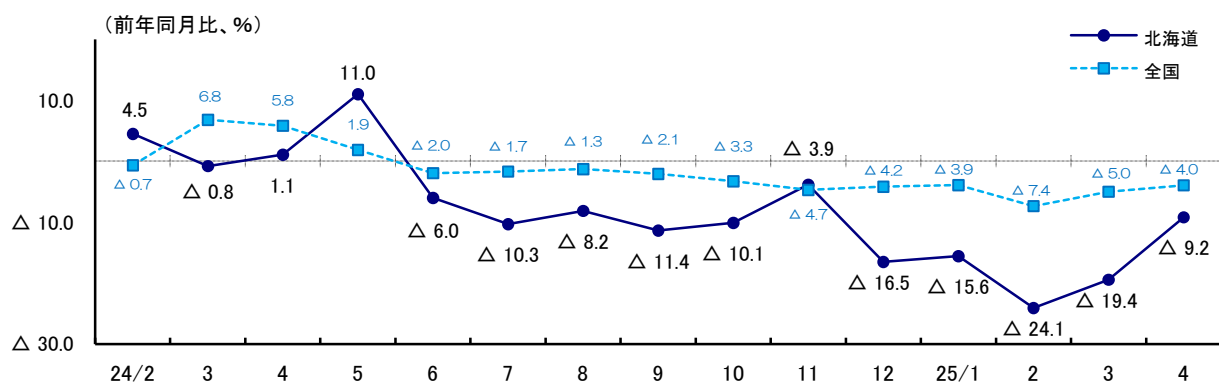
電力需要は2,695百万kWh、前年同月比2.6%減と11か月連続で前年を下回り、産業用需要の大口電力は423百万kWh、同9.2%減と11か月連続で前年を下回った。



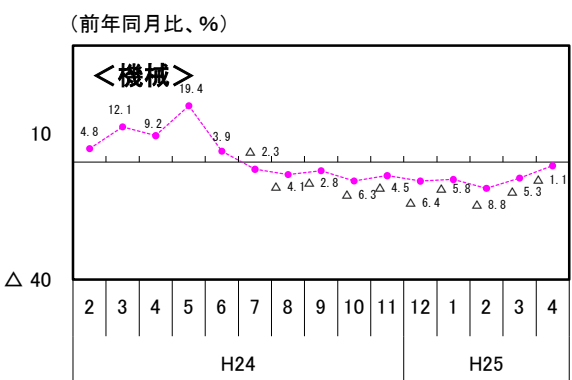
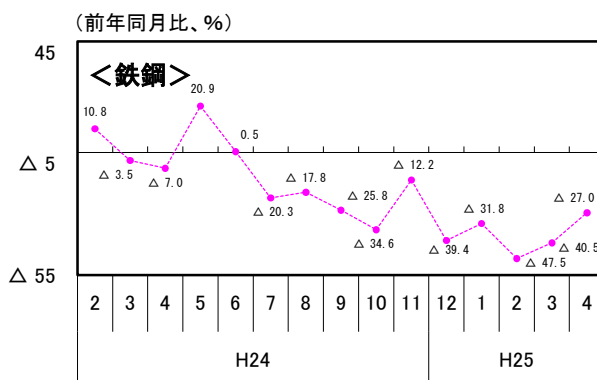
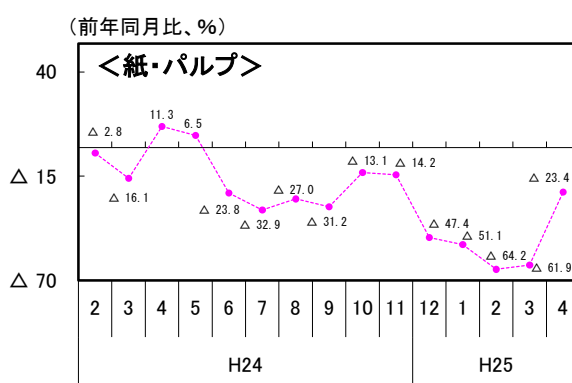
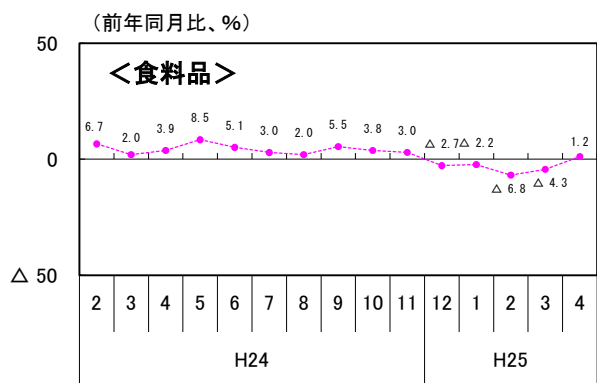
● 大口電力の内訳



● 大口電力の推移



業種別の大口電力では、食料品が前年を上回ったが、紙・パルプ、鉄鋼、機械が前年を下回った。

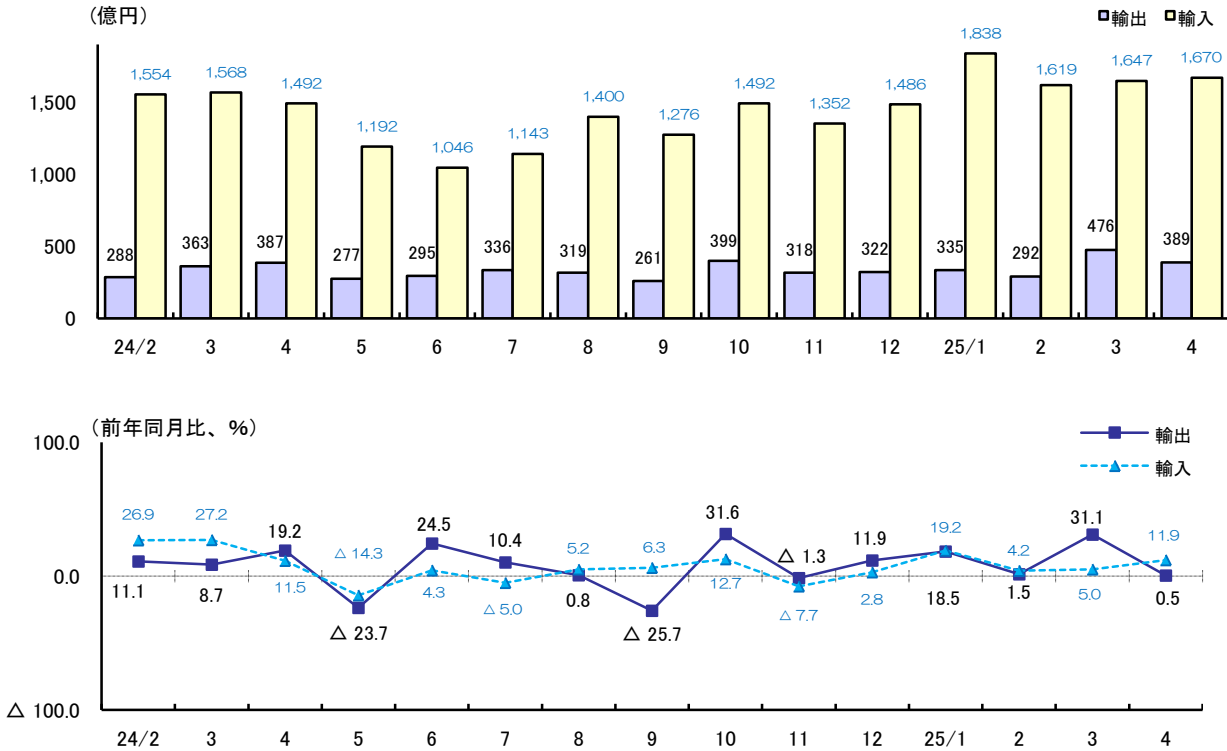


(電気事業連合会調べ)

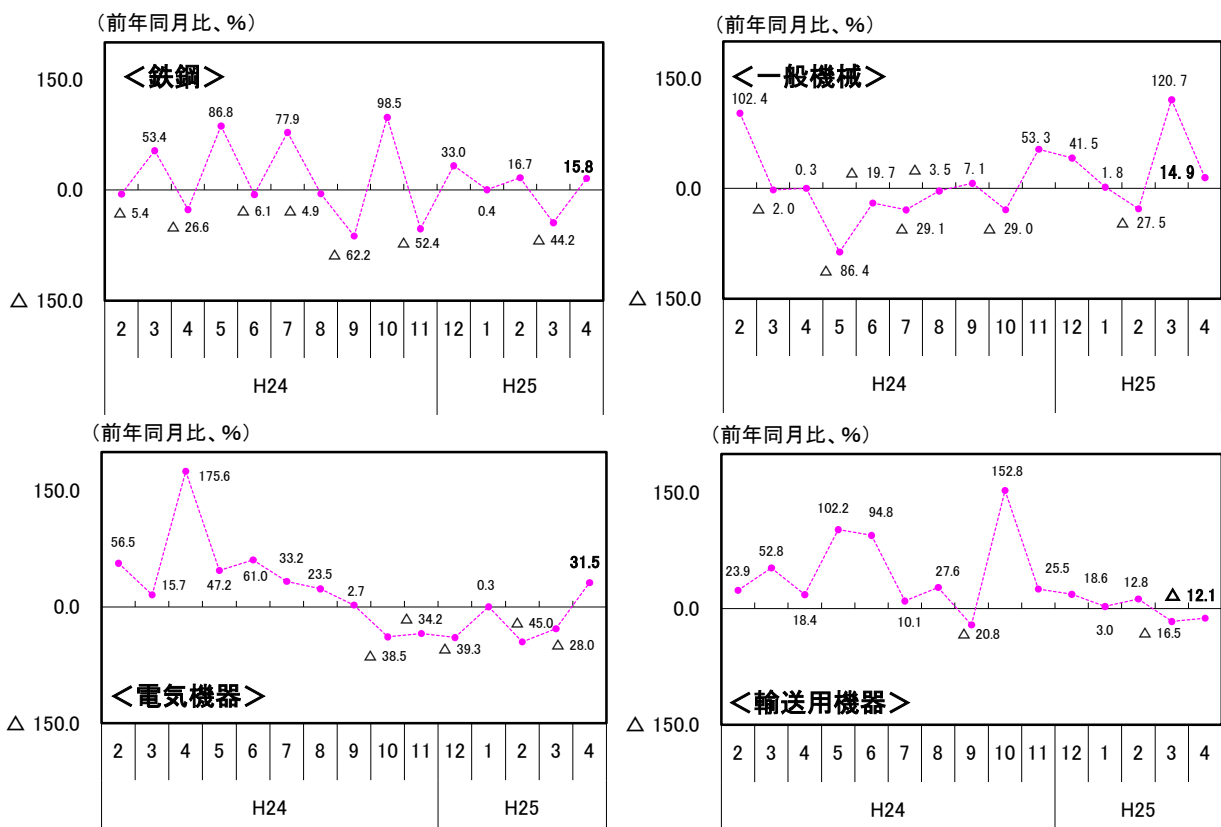
## ■輸出入～ 輸出額、輸入額とも前年を上回った

### ◆輸出入額（4月）◆

輸出額は389億円、前年同月比0.5%増と5か月連続で前年を上回り、輸入額1,670億円、同11.9%増と5か月連続で前年を上回った。



輸出品別では鉄鋼、一般機械、電気機器が前年を上回ったが、輸送用機器が前年を下回った。

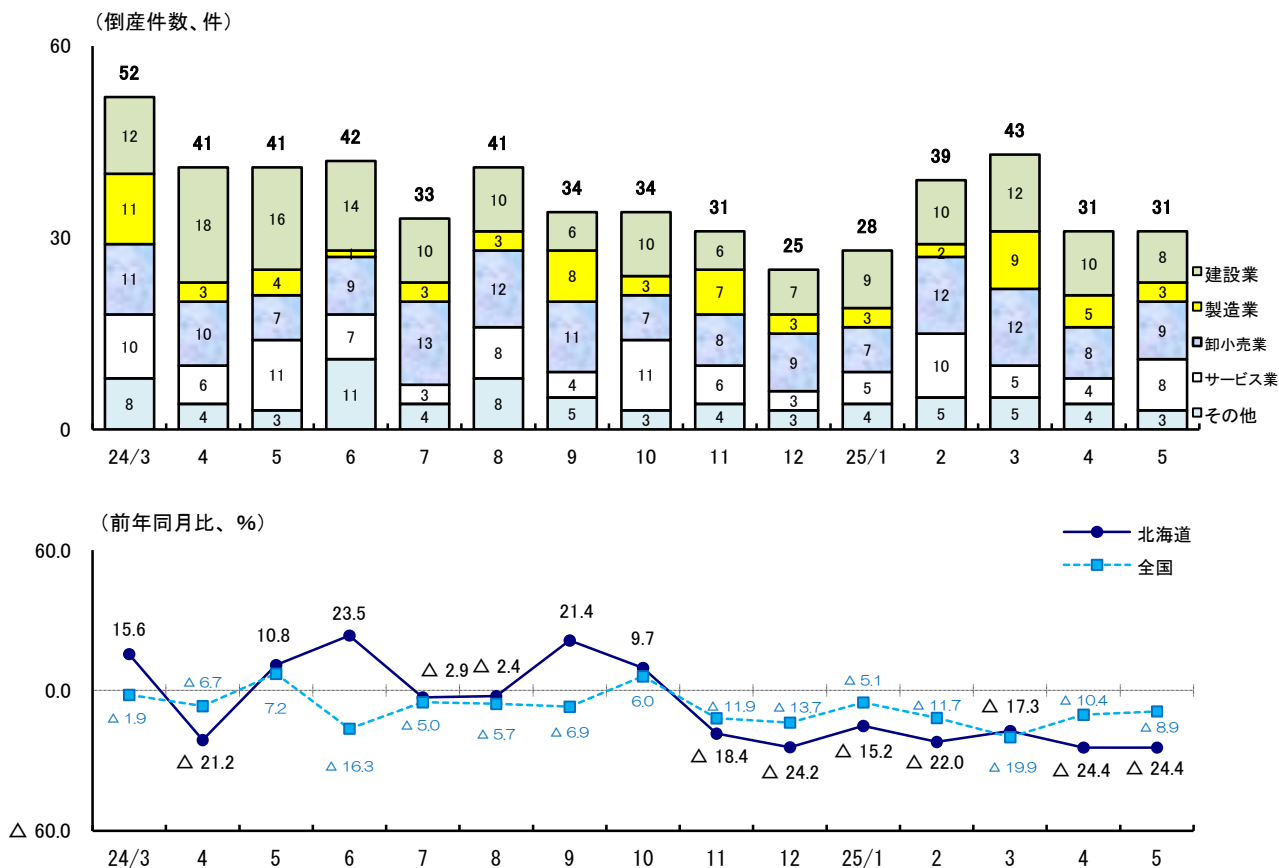


(財務省、函館税関調べ)

■企業倒産～ 件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回った

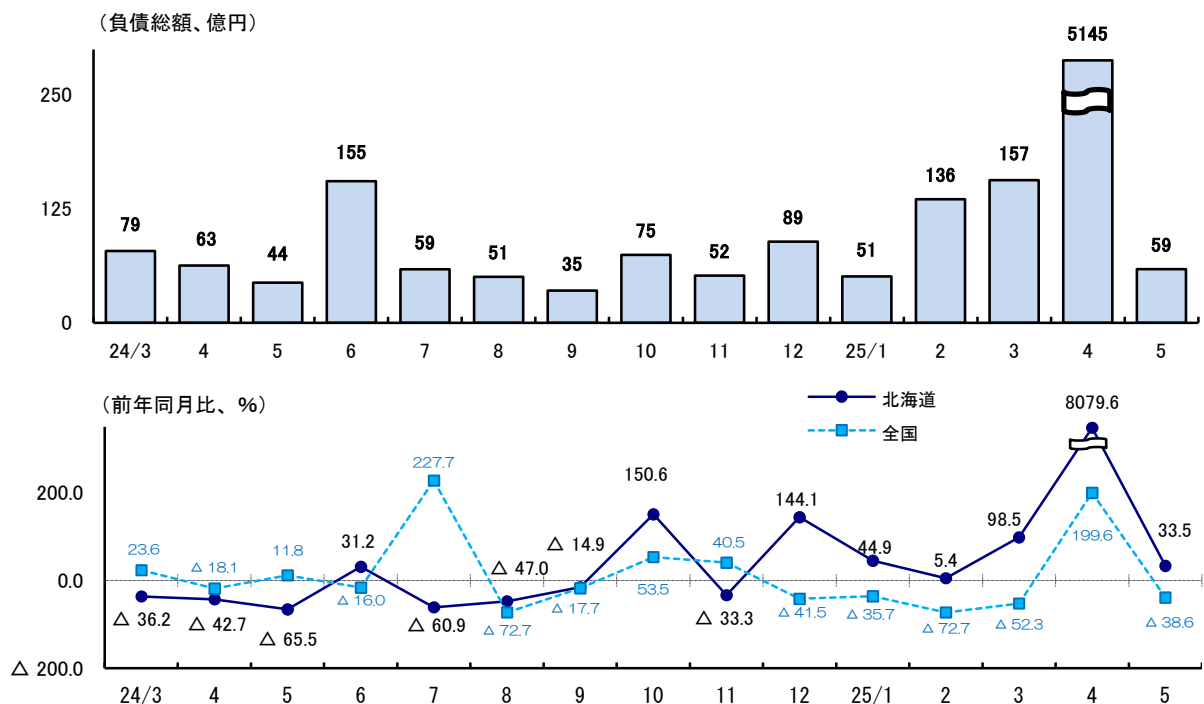
◆企業倒産件数（5月）◆

企業倒産件数は31件、前年同月比24.4%減と7か月連続で前年を下回った。



◆負債総額（5月）◆

負債総額は59億円、前年同月比33.5%増と6か月連続で前年を上回った。

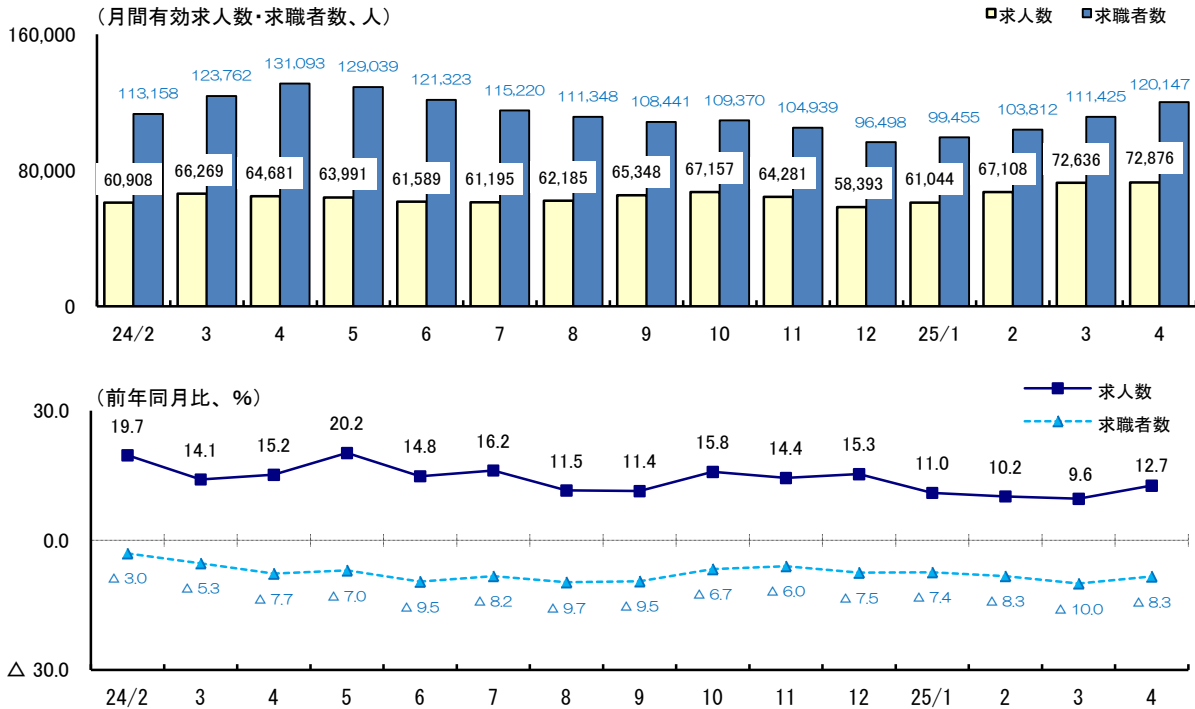


(東京商工リサーチ北海道支社調べ)

## ■雇 用 ～ 厳しい状況が続いているものの、緩やかに持ち直してきている

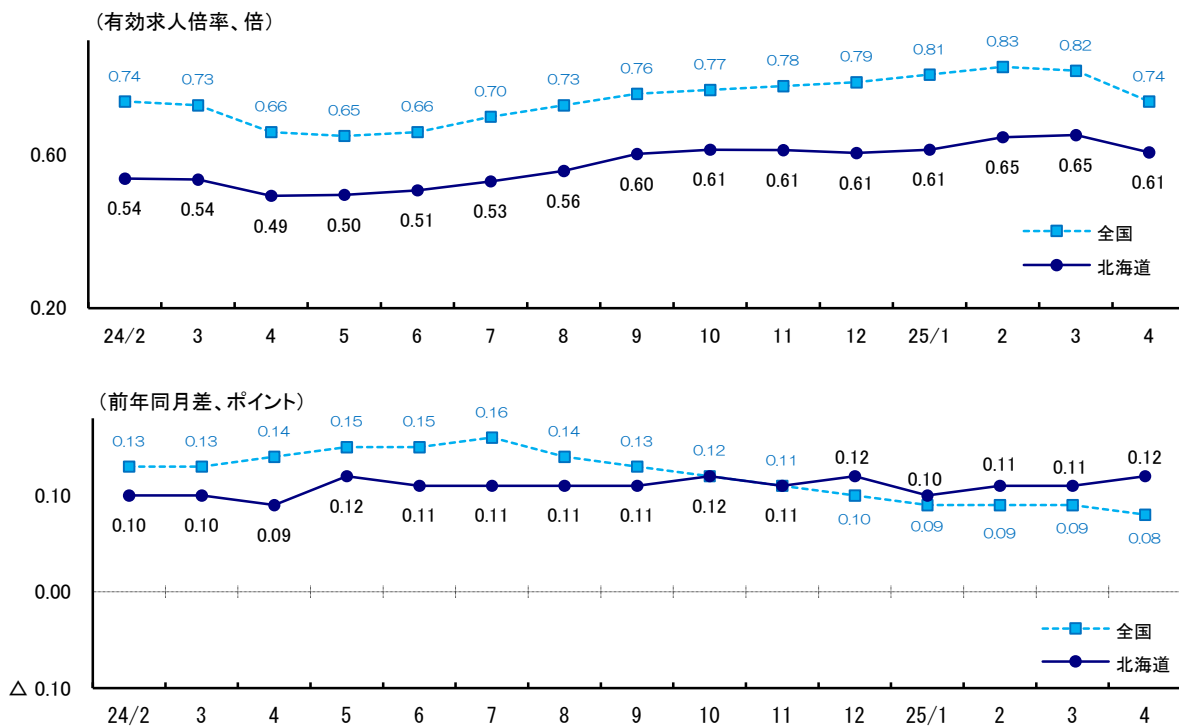
### ◆月間有効求人数・求職者数（4月）◆

月間有効求人数は7万2,876人、前年同月比12.7%増と39か月連続で前年を上回り、月間有効求職者数は12万147人、前年同月比8.3%減と18か月連続で前年を下回った。



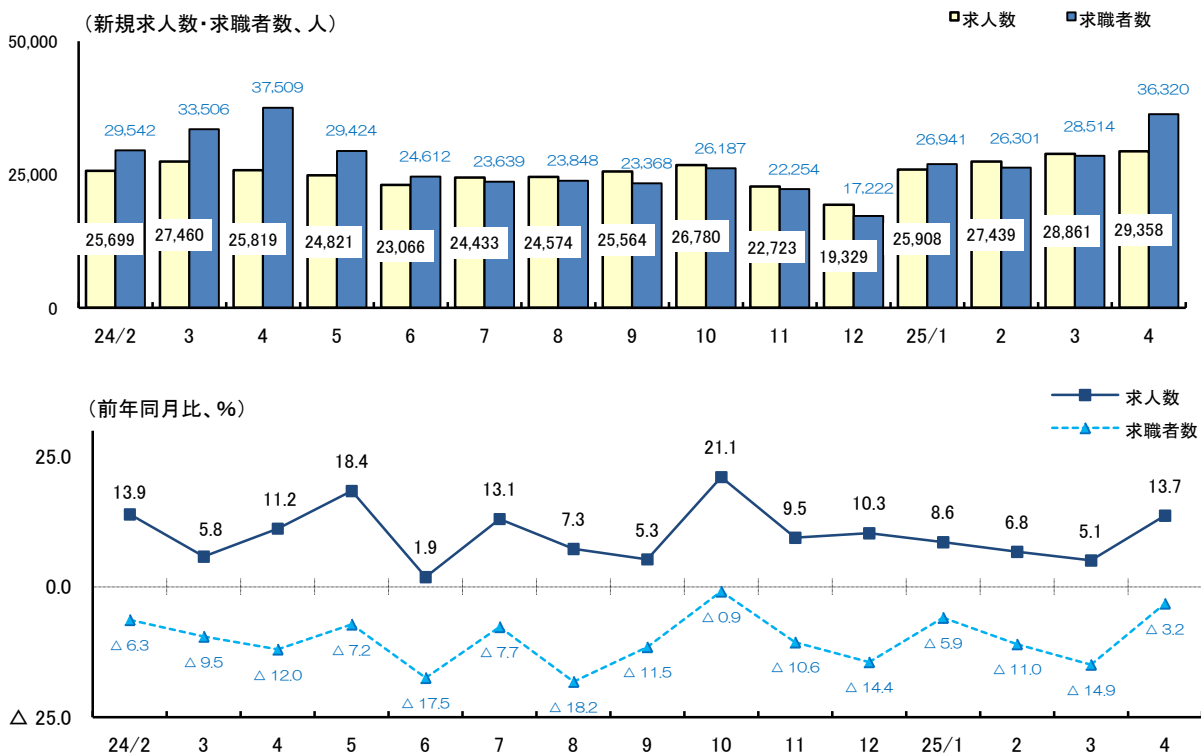
### ◆有効求人倍率（4月）◆

有効求人倍率は0.61倍、前年同月差では0.12ポイント増となり、39か月連続で前年を上回った。



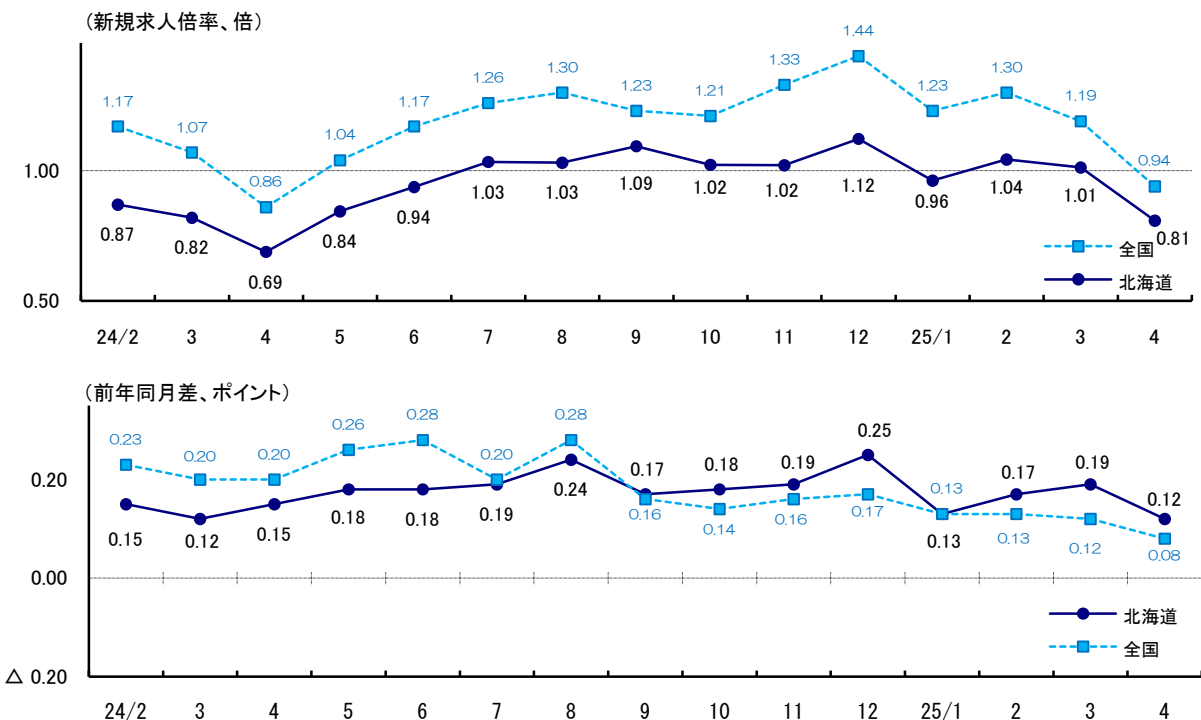
◆新規求人数・求職者数（4月）◆

新規求人数は2万9,358人、前年同月比13.7%増と39か月連続で前年を上回り、新規求職者数は3万6,320人、前年同月比3.2%減と18か月連続で前年を下回った。



◆新規求人倍率（4月）◆

新規求人倍率は0.81倍、前年同月差では0.12ポイント増となり、23か月連続で前年を上回った。

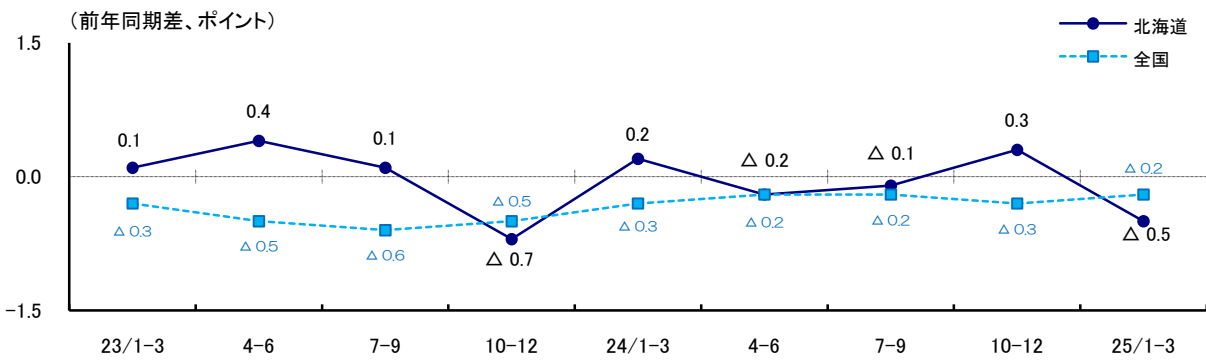
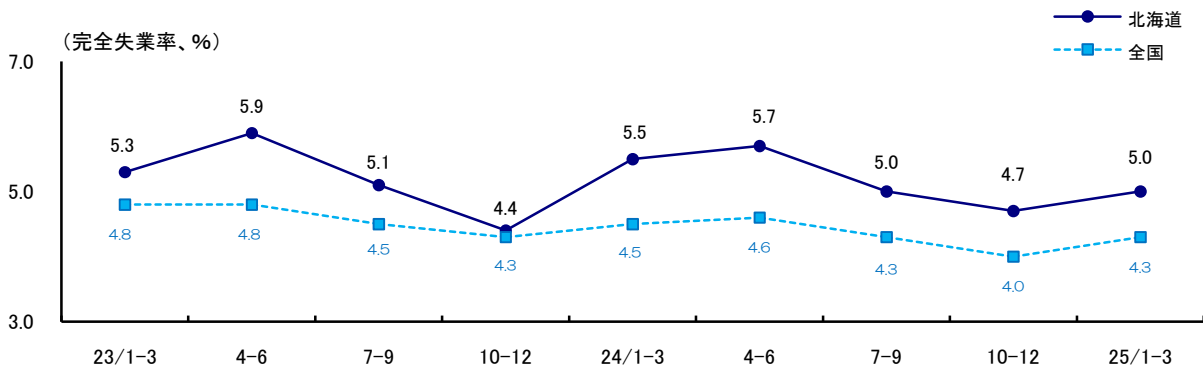
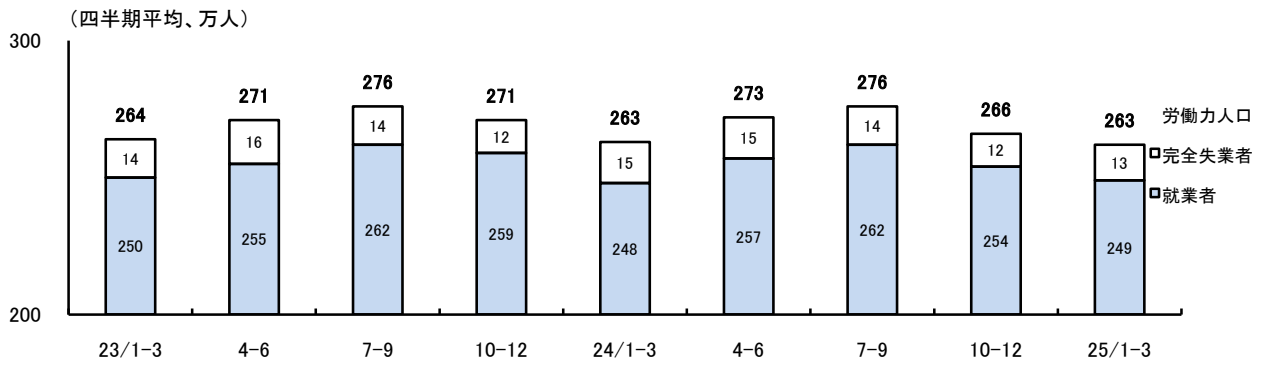


(北海道労働局、厚生労働省調べ)



◆完全失業者数、完全失業率（25年1-3月期）◆

完全失業者数は13万人と前年同期に比べて2万人減少し、完全失業率は5.0%、前年同期から0.5ポイント低下した。



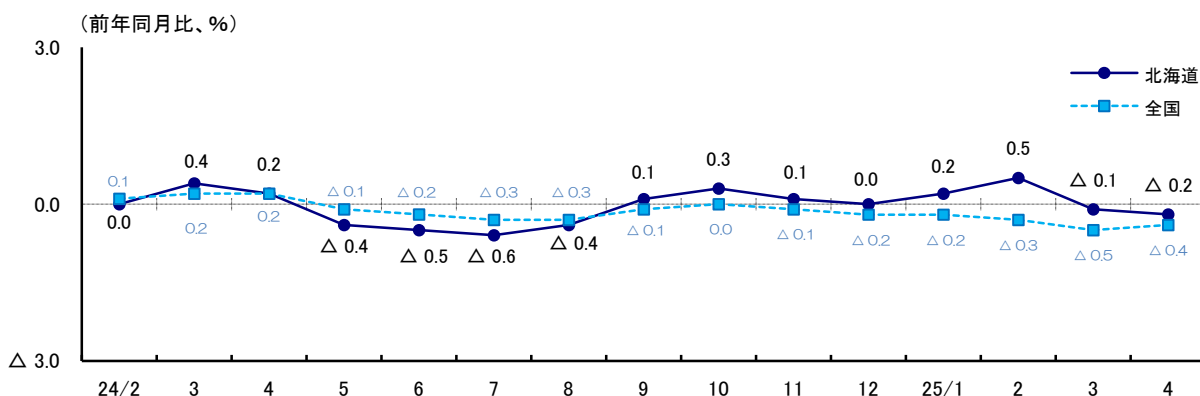
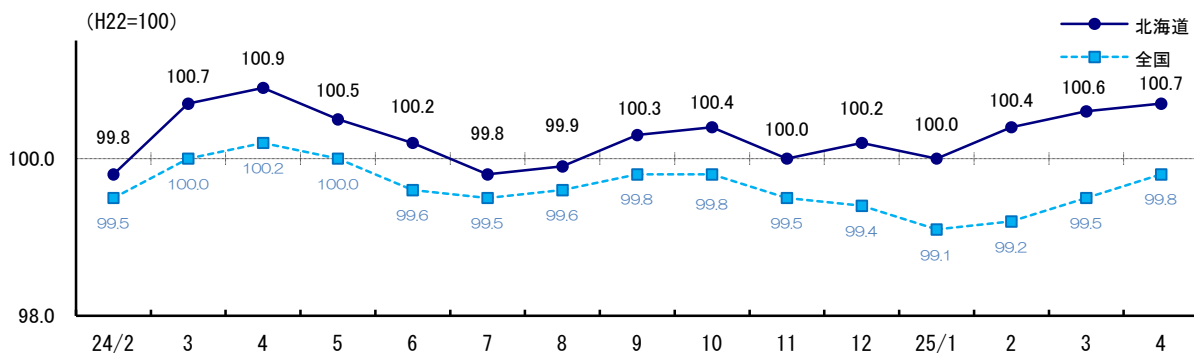
(総務省調べ)

※ 平成23年1-3月から7-9月までの全国値は、補完的な推計を行って算出した参考値

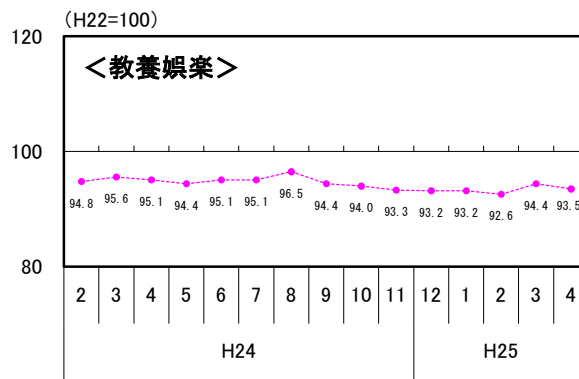
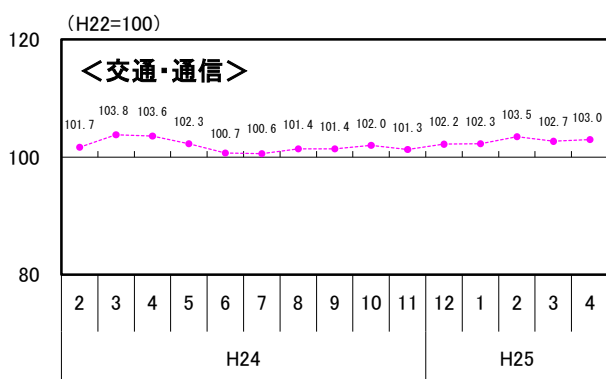
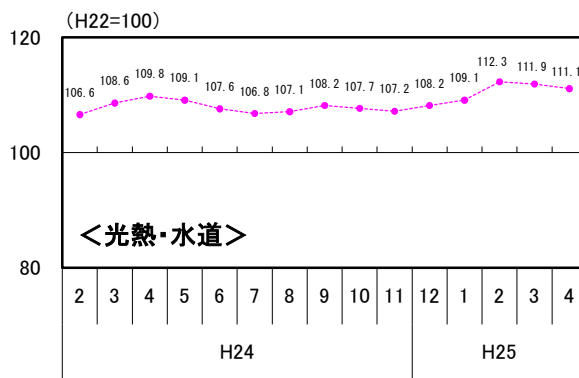
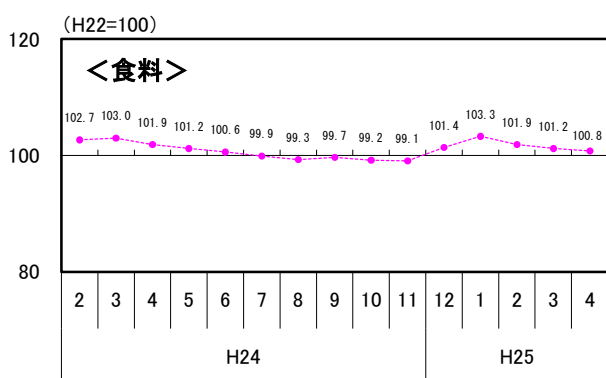
## ■物 価 ～ 消費者物価指数は前年を下回った

### ◆消費者物価指数（4月）◆

生鮮食品を除く総合で100.7と、前年同月比0.2%減と2か月連続で前年を下回った。



前月からの動きを費目別で見ると、交通・通信は上昇し、食料、光熱・水道、教養娯楽は低下した。

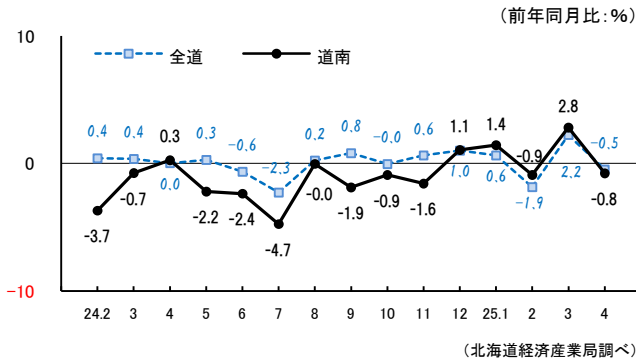


(総務省統計局調べ)

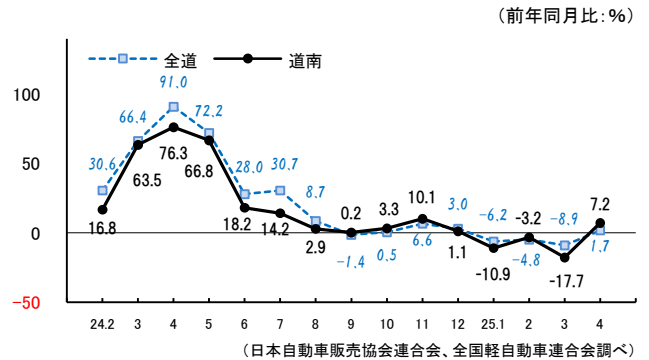
## ■ 地域の経済動向

### 道南圏

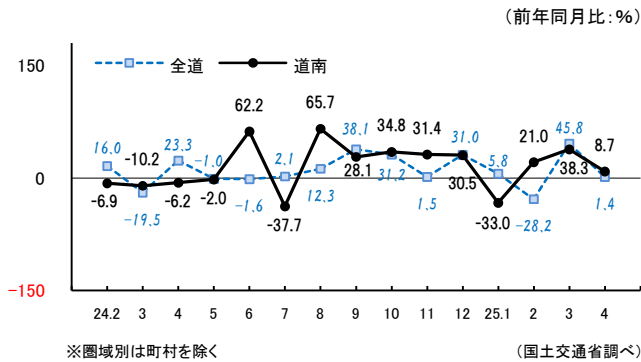
#### ◆大型小売店販売額(全店、函館市) (4月)◆ 2か月ぶりに前年を下回った



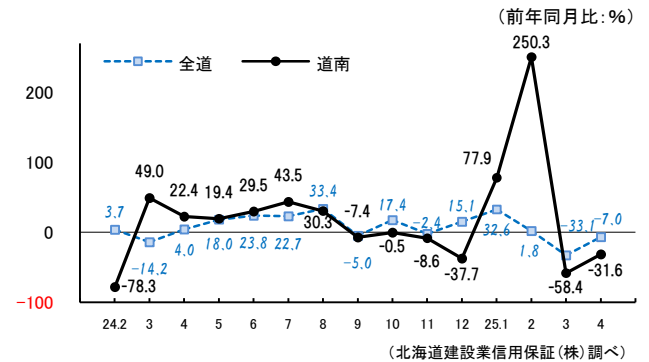
#### ◆新車登録台数(乗用車) (4月)◆ 4か月ぶりに前年を上回った



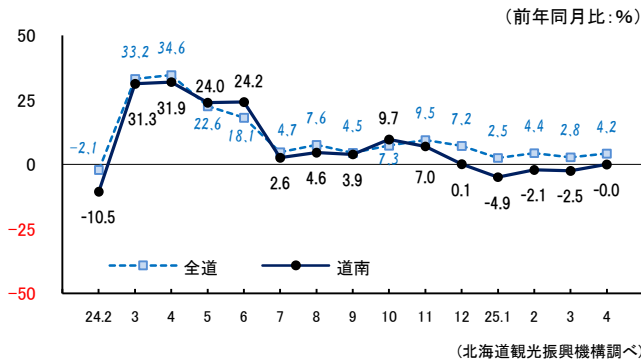
#### ◆新設住宅着工戸数 (4月)◆ 3か月連続で前年を上回った



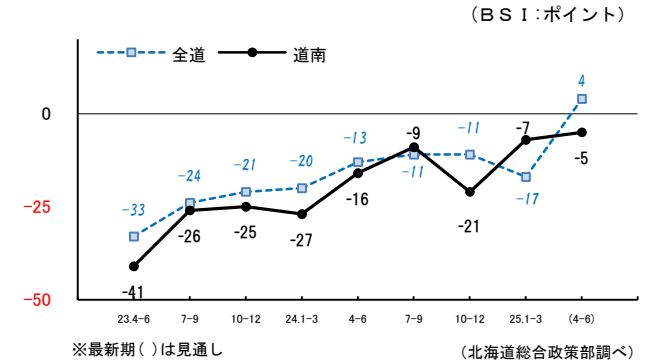
#### ◆公共工事請負金額 (4月)◆ 2か月連続で前年を下回った



#### ◆航空機利用による来道者数(着地別) (4月)◆ 4か月連続で前年を下回った

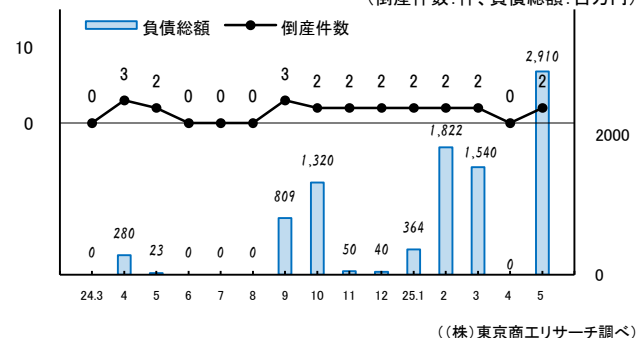


#### ◆企業の業況感 (1-3月期)◆ 前期からマイナス幅が縮小した

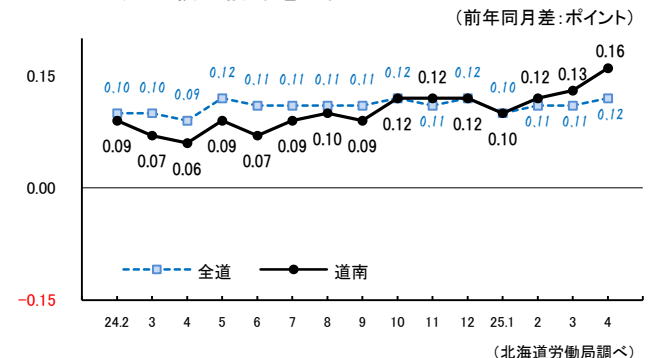


#### ◆企業倒産 (5月)◆

10億円以上の大型倒産は1件発生した  
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



#### ◆有効求人倍率 (4月)◆ 35か月連続で前年を上回った

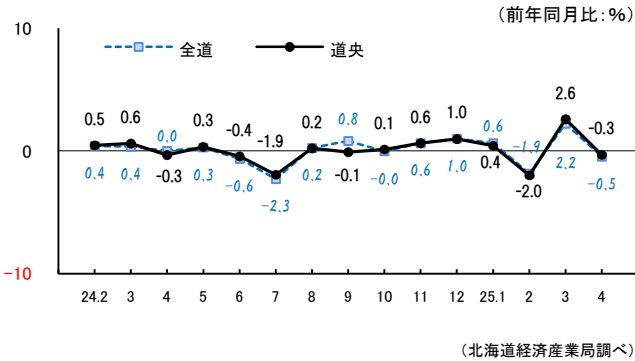


## ■ 地域の経済動向

### 道央圏

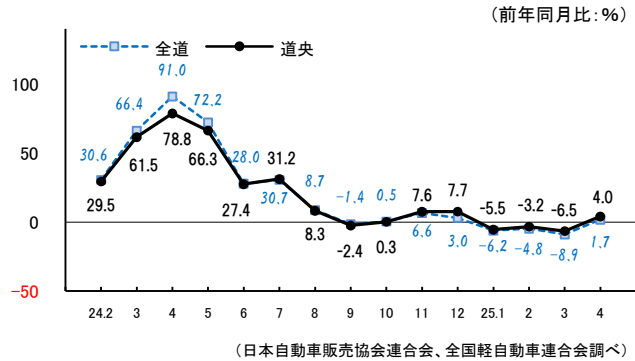
#### ◆大型小売店販売額(4月)◆

(全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市)  
2か月ぶりに前年を下回った



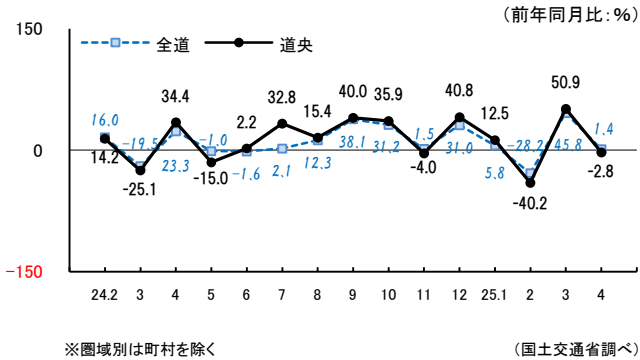
#### ◆新車登録台数(乗用車)(4月)◆

4か月ぶりに前年を上回った



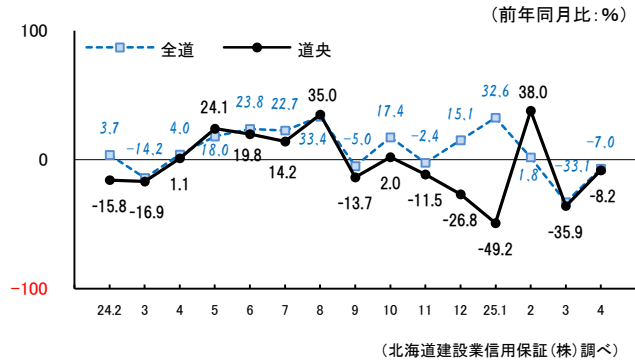
#### ◆新設住宅着工戸数(4月)◆

2か月ぶりに前年を下回った



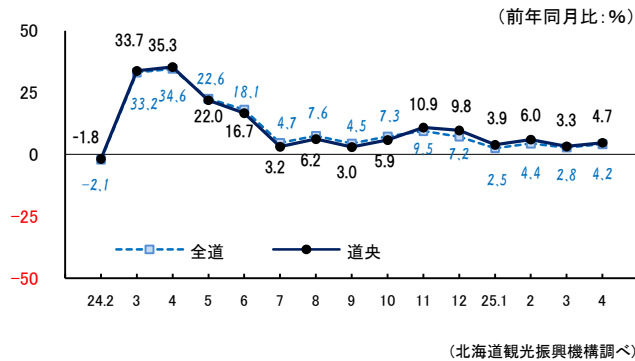
#### ◆公共工事請負金額(4月)◆

2か月連続で前年を下回った



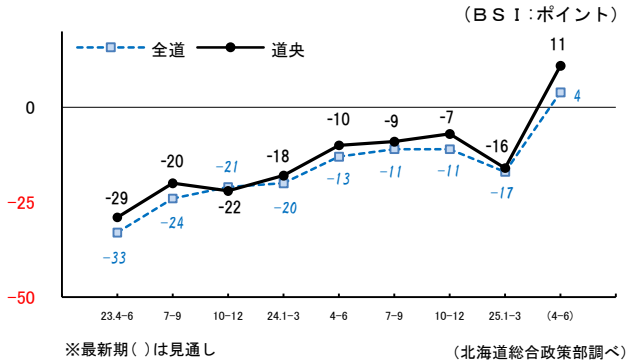
#### ◆航空機利用による来道者数(着地別)(4月)◆

14か月連続で前年を上回った



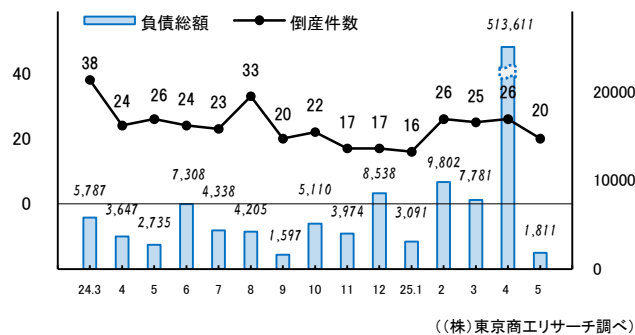
#### ◆企業の業況感(1-3月期)◆

前期からマイナス幅が拡大した



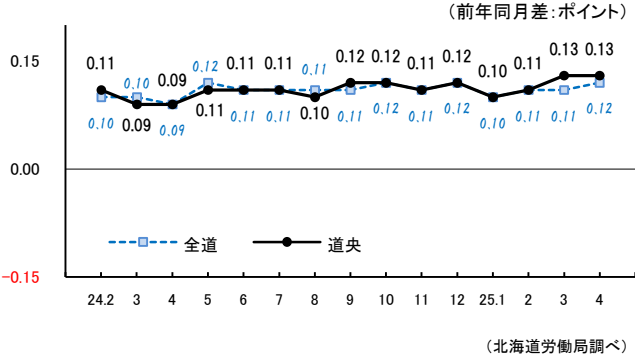
#### ◆企業倒産(5月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった  
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



#### ◆有効求人倍率(4月)◆

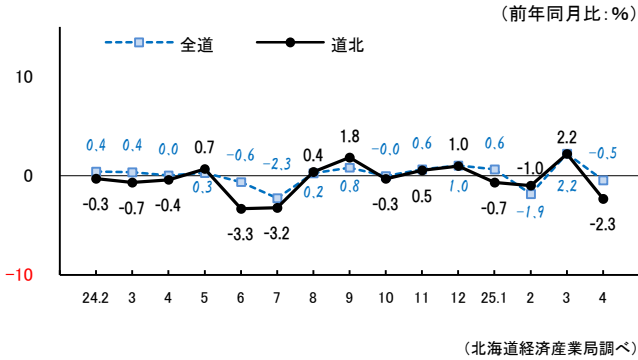
38か月連続で前年を上回った



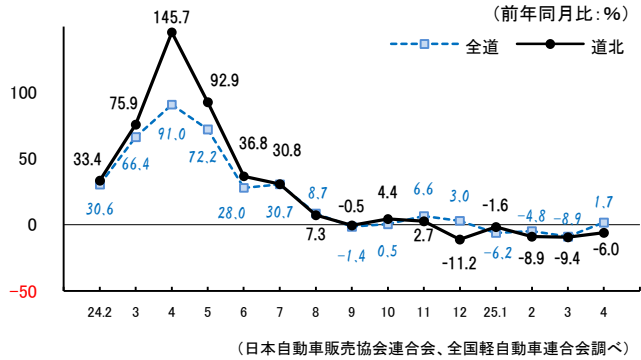
■ 地域の経済動向

道北圏

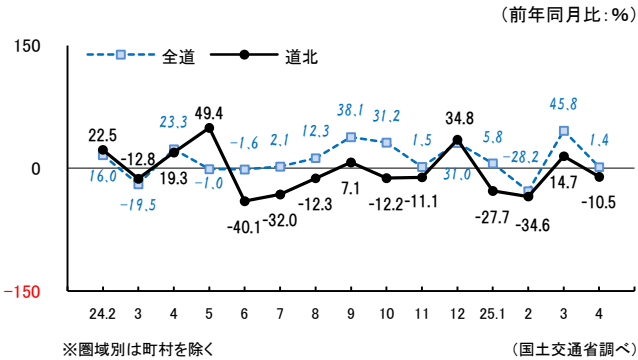
◆大型小売店販売額(全店、旭川市) (4月)◆  
2か月ぶりに前年を下回った



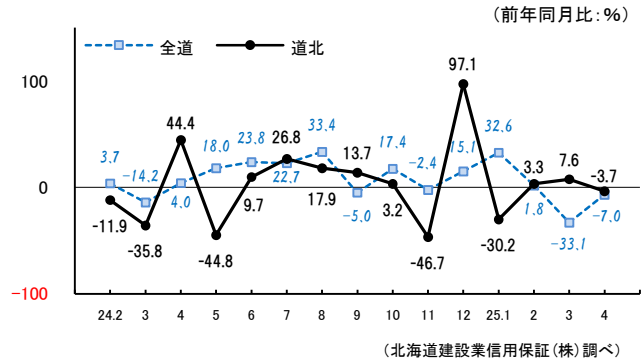
◆新車登録台数(乗用車) (4月)◆  
5か月連続で前年を下回った



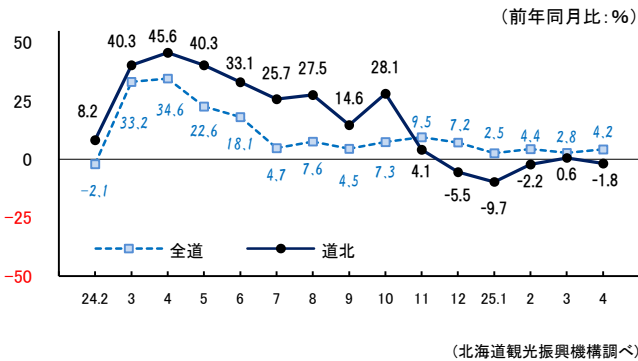
◆新設住宅着工戸数 (4月)◆  
2か月ぶりに前年を下回った



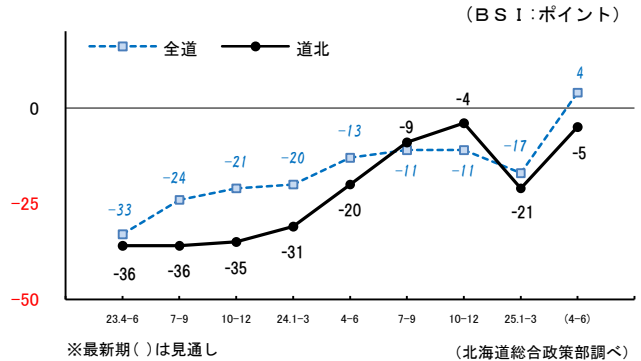
◆公共工事請負金額 (4月)◆  
3か月ぶりに前年を下回った



◆航空機利用による来道者数(着地別) (4月)◆  
2か月ぶりに前年を下回った

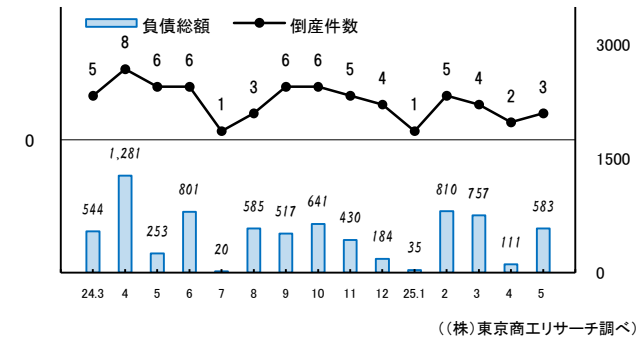


◆企業の業況感 (1-3月期)◆  
前期からマイナス幅が拡大した



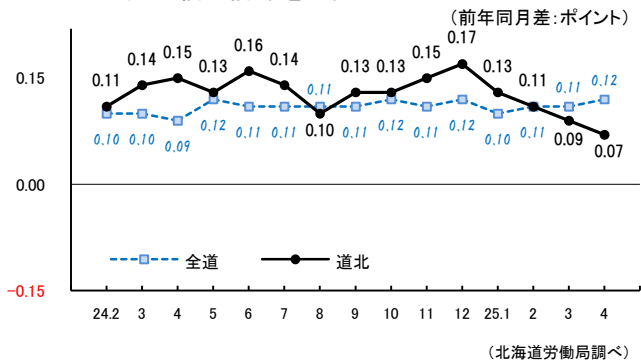
◆企業倒産 (5月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった  
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率 (4月)◆

40か月連続で前年を上回った

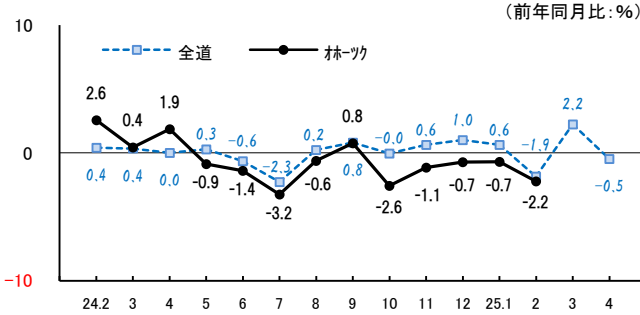


## ■ 地域の経済動向

### オホーツク圏

#### ◆主要小売店売上高(全店)(2月)◆

5か月連続で前年を下回った

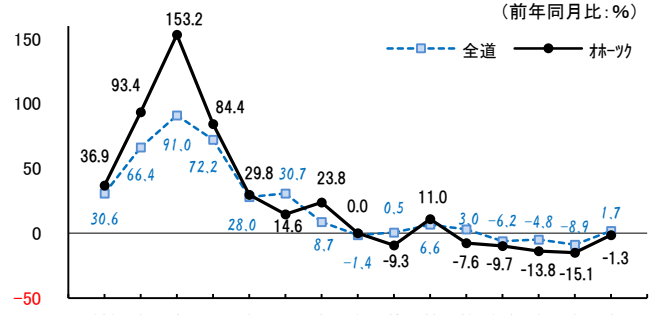


※全道は大型小売店販売額

(財務局北見出張所、北海道経済産業局調べ)

#### ◆新車登録台数(乗用車)(4月)◆

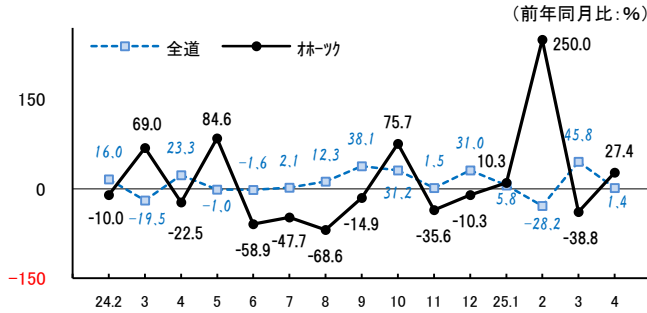
5か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

#### ◆新設住宅着工戸数(4月)◆

2か月ぶりに前年を上回った

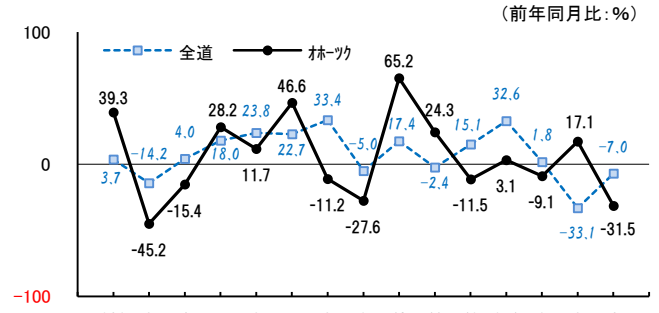


※圏域別は町村を除く

(国土交通省調べ)

#### ◆公共工事請負金額(4月)◆

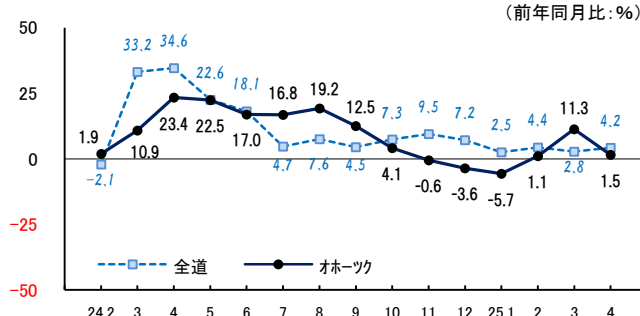
2か月ぶりに前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

#### ◆航空機利用による来道者数(着地別)(4月)◆

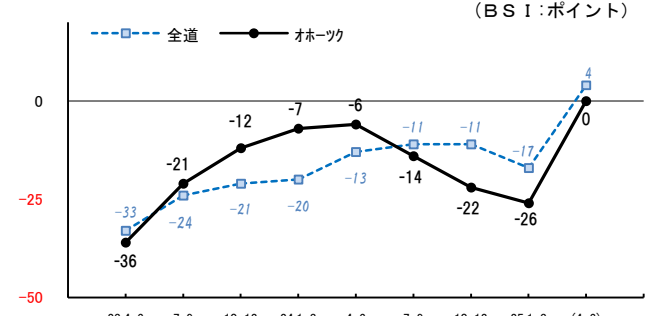
3か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構調べ)

#### ◆企業の業況感(1-3月期)◆

前期からマイナス幅が拡大した

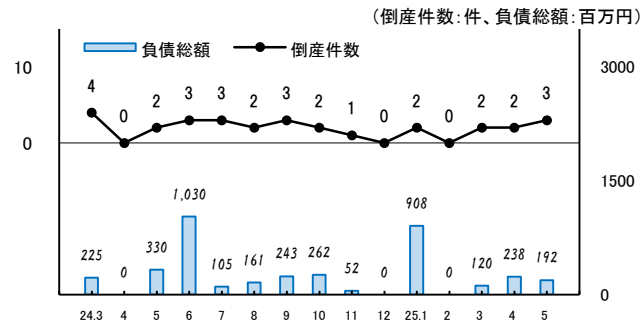


※最新期( )は見通し

(北海道総合政策部調べ)

#### ◆企業倒産(5月)◆

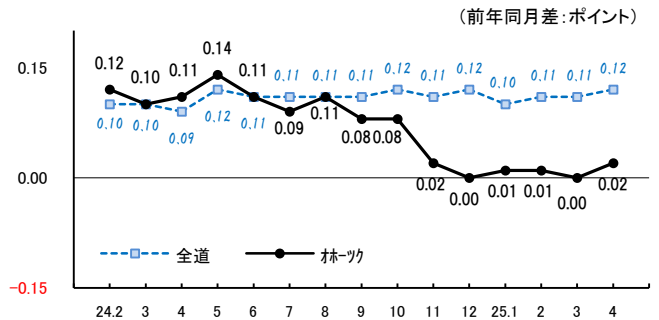
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



(株)東京商工リサーチ調べ)

#### ◆有効求人倍率(4月)◆

2か月ぶりに前年を上回った

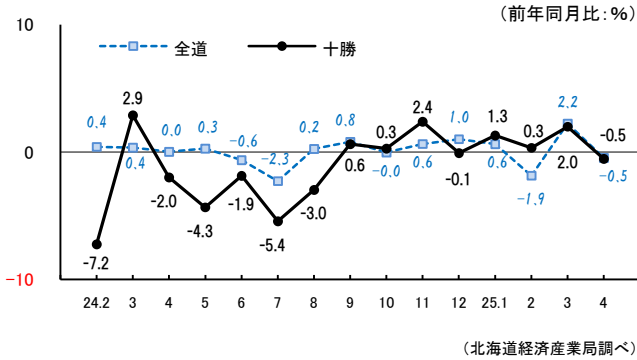


(北海道労働局調べ)

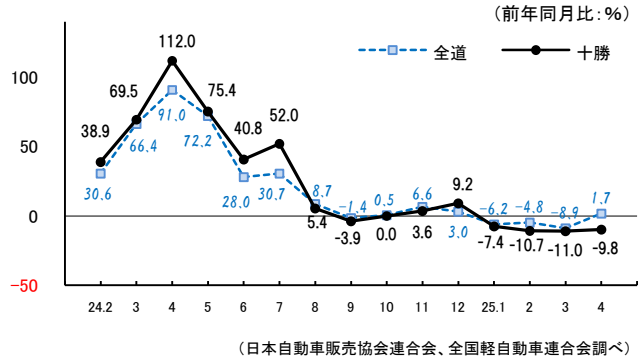
■ 地域の経済動向

十勝圏

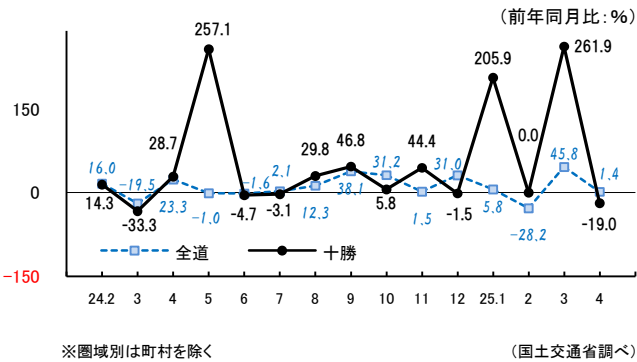
◆大型小売店販売額(全店、帯広市) (4月)◆  
4か月ぶりに前年を下回った



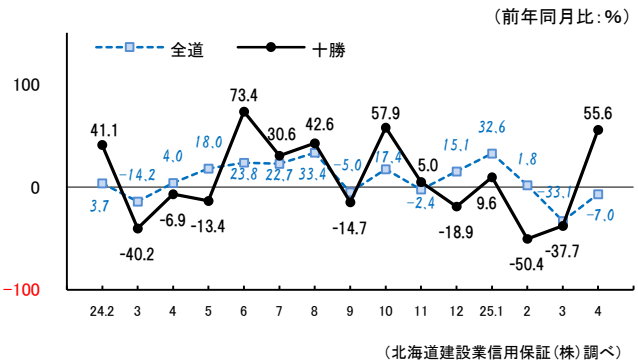
◆新車登録台数(乗用車) (4月)◆  
4か月連続で前年を下回った



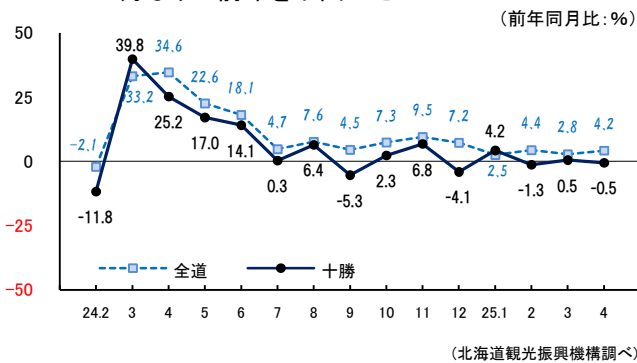
◆新設住宅着工戸数 (4月)◆  
4か月ぶりに前年を下回った



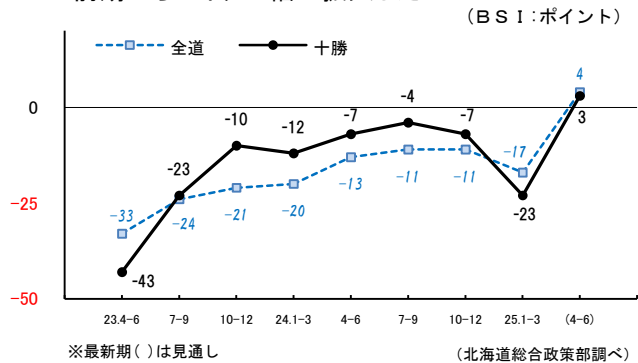
◆公共工事請負金額 (4月)◆  
3か月ぶりに前年を上回った



◆航空機利用による来道者数(着地別) (4月)◆  
2か月ぶりに前年を下回った

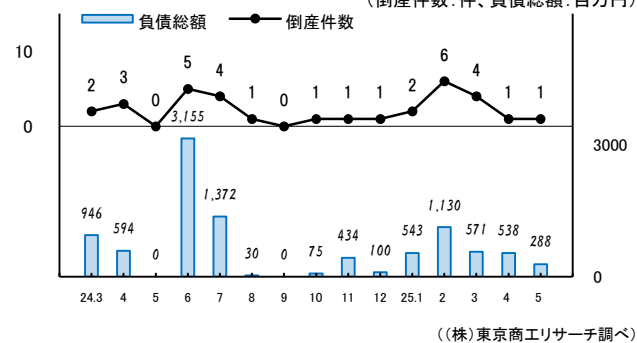


◆企業の業況感 (1-3月期)◆  
前期からマイナス幅が拡大した



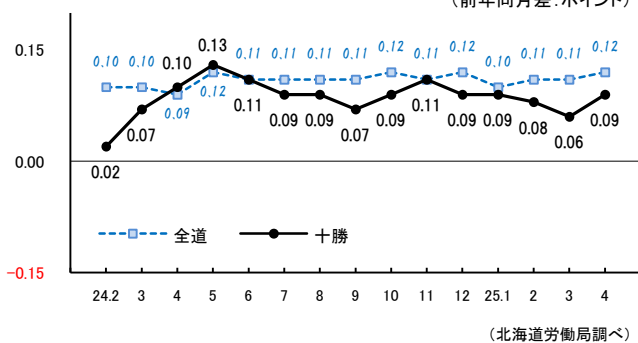
◆企業倒産 (5月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった  
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率 (4月)◆

18か月連続で前年を上回った  
(前年同月差:ポイント)

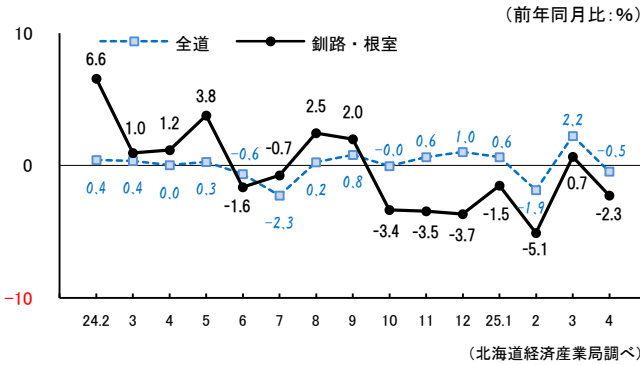


## ■ 地域の経済動向

### 釧路・根室圏

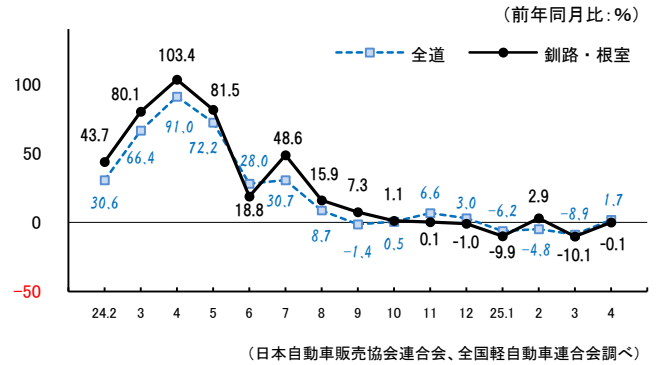
#### ◆大型小売店販売額(全店、釧路市) (4月)◆

2か月ぶりに前年を下回った



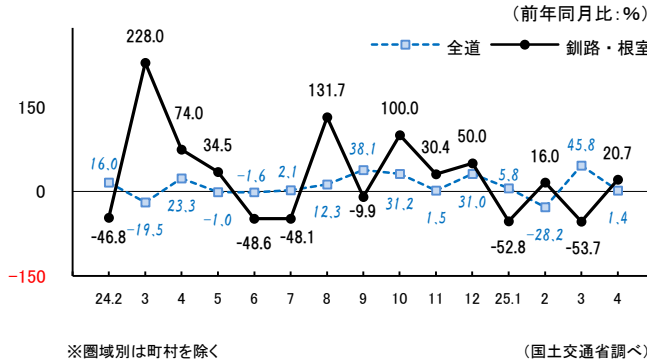
#### ◆新車登録台数(乗用車) (4月)◆

2か月連続で前年を下回った



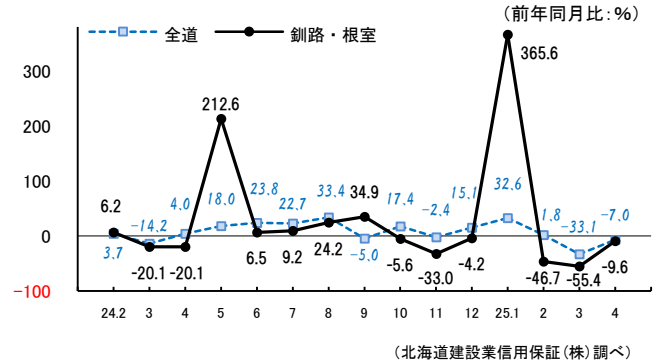
#### ◆新設住宅着工戸数 (4月)◆

2か月ぶりに前年を上回った



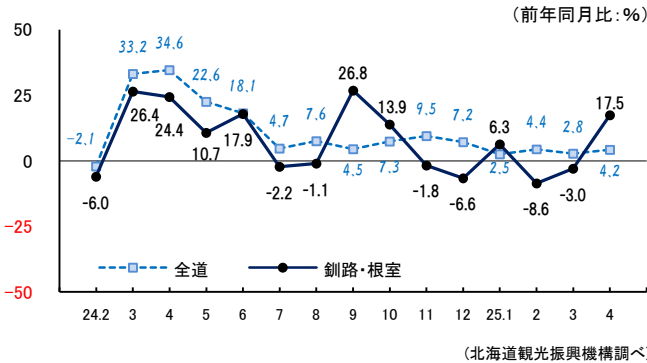
#### ◆公共工事請負金額 (4月)◆

3か月連続で前年を下回った



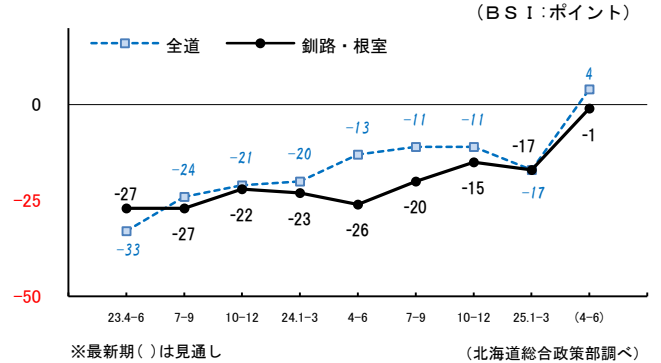
#### ◆航空機利用による来道者数(着地別) (4月)◆

3か月ぶりに前年を上回った



#### ◆企業の業況感 (1-3月期)◆

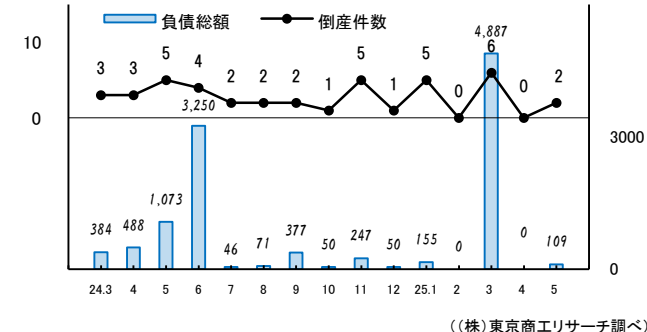
前期からマイナス幅が拡大した



#### ◆企業倒産 (5月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

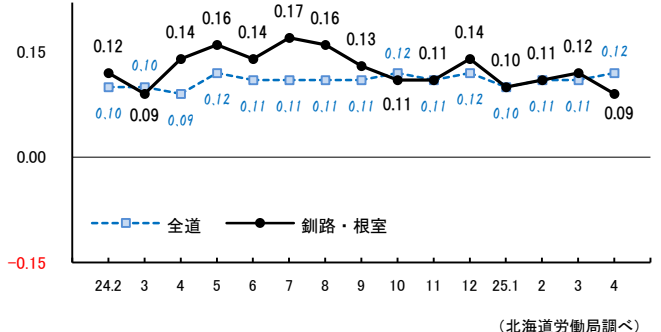
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



#### ◆有効求人倍率 (4月)◆

41か月連続で前年を上回った

(前年同月差:ポイント)





## ■全国の景気

～景気は、着実に持ち直している。～

<内閣府月例経済報告(平成25.6.13)から>

(5月) (景気は、緩やかに持ち直している。)

## 我が国経済の基調判断

- ・輸出は、持ち直しの動きがみられる。生産は、持ち直している。
- ・企業収益は、製造業を中心に改善している。設備投資は、下げ止まりつつある。
- ・企業の業況判断は、改善の動きがみられる。
- ・雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善している。
- ・個人消費は、持ち直している。
- ・物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にあるものの、このところ一部に変化の兆しもみられる。

先行きについては、輸出が持ち直し、各種政策の効果が発現するなかで、企業収益の改善が家計所得や投資の増加につながり、景気回復へ向かうことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。

## 政策の基本的態度

政府は、大震災からの復興を加速させるとともに、デフレからの早期脱却と経済再生の実現に向けて全力で取り組む。このため、「再生の10年」に向けた基本戦略を示す「骨太方針(仮称)」及び「成長戦略(仮称)」を取りまとめる。

日本銀行には、2%の物価安定目標をできるだけ早期に実現することを期待する。

## 各 論

- ・個人消費は、持ち直している。
- ・設備投資は、下げ止まりつつある。
- ・住宅建設は、持ち直している。
- ・公共投資は、堅調に推移している。
- ・輸出は、持ち直しの動きがみられる。輸入は、横ばいとなっている。貿易・サービス収支の赤字は、増加傾向となっている。
- ・生産は、持ち直している。
- ・企業収益は、製造業を中心に改善している。企業の業況判断は、改善の動きがみられる。倒産件数は、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善している。
- ・国内企業物価は、緩やかに上昇している。消費者物価は、このところ下落テンポが緩やかになっている。
- ・株価(日経平均株価)は、15,500円台から12,800円台まで下落した後、13,400円台まで上昇している。対米ドル円レートは、102円台から96円台まで円高方向へ推移した後、98円台まで円安方向へ推移している。

**最近の経済動向**  
平成25年6月号

---

**編集・発行 北海道総合政策部政策局経済調査課**

**TEL 011-204-5139**

---

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/skc/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>